

# データで見る 日本のフリーランス

本業＝フリーランス324万人のリアル





## 全国就業実態パネル調査 2019 (第4回調査)

- **調査目的** 調査前年1年間の個人の就業状態、所得、生活実態などを、毎年追跡して調査を行い、全国の就業・非就業の実態とその変化を明らかにする
- **調査対象** 全国15歳以上の男女
- **調査時期** 2019年1月11日～13日
- **調査手法** インターネットモニター調査
- **標本設計** 総務省統計局「労働力調査」のデータをもとに、性別、年齢階層別、就業形態別、地域ブロック別、学歴別の割付を行った。割付は、母集団を反映するように設定。10代の非労働力人口と65歳以上については、実際の人数よりも少なく割付。
- **サンプル数** 62,415(ウエイトバック後 ウェイト値「XA19」)

### 〈本レポートの集計対象者〉

全国就業実態パネル調査2019の回答者のうち、以下の対象条件を満たすもの

- **対象者条件** フリーランサー ①雇用者のいない自営業主もしくは内職であり、②実店舗を持たず、③農林漁業(業種)従事者ではない、④主に従事していた
- **サンプル数** 1,257(ウエイトバック後 ウェイト値「XA19」)

### 〈追跡調査〉

- **調査手法** 調査地域・調査手法・対象者条件・ウエイトバック 同上
- **調査時期** 2019年10月1日～7日
- **標本抽出・設計** JPSED2019の回答者で上記フリーランスの条件にあてはまる人に再送信、割付なし
- **サンプル数** 588(ウエイトバック後)

# Works Report 2020

## データで見る 日本のフリーランス

### CONTENTS

- 3 Introduction  
本業＝フリーランス324万人のリアル
- 5 データで見るフリーランス（平均像）  
「フリーランス」とは、どのような人々か
  - 7 フリーランスの属性  
フリーランスの中心は、スキル、技術、経験を備えた50歳代男性
  - 9 フリーランスの働き方 フリーランスVS 会社員  
自由度の高さがフリーランスの魅力
  - 11 フリーランスの人生満足度  
幸福度と生活満足度は、正社員と互角
  - 13 フリーランスのキャリア形成
    - 13 営業・販売職
    - 14 クリエイティブ職
    - 15 ソフトウェア・インターネット関連技術職
    - 16 フリーランスになるために重要なこと
- 17 職種別に見たフリーランスの実像  
よりミクロに働き方、能力開発、生活、キャリアを探る
  - 19 フリーランスの属性
  - 21 働き方 | 労働環境
  - 23 働き方 | 仕事の柔軟性
  - 25 働き方 | 家事育児時間、登録サイト・所属団体
  - 27 能力開発 | 自己啓発、トレーニング
  - 29 能力開発 | 仕事レベルアップ
  - 30 生活 | 幸福度・生活満足度
  - 31 生活 | 安心度
  - 33 生活 | 仕事と家庭の両立
  - 34 キャリア | 入職経路
  - 35 キャリア | 初職の就業形態、前職の年収
  - 37 キャリア | 現在の年収、年収増減率
  - 39 キャリア | 退職回数、前職の退職理由
  - 41 キャリア | 重要事項



# 本業＝フリーランス 324万人

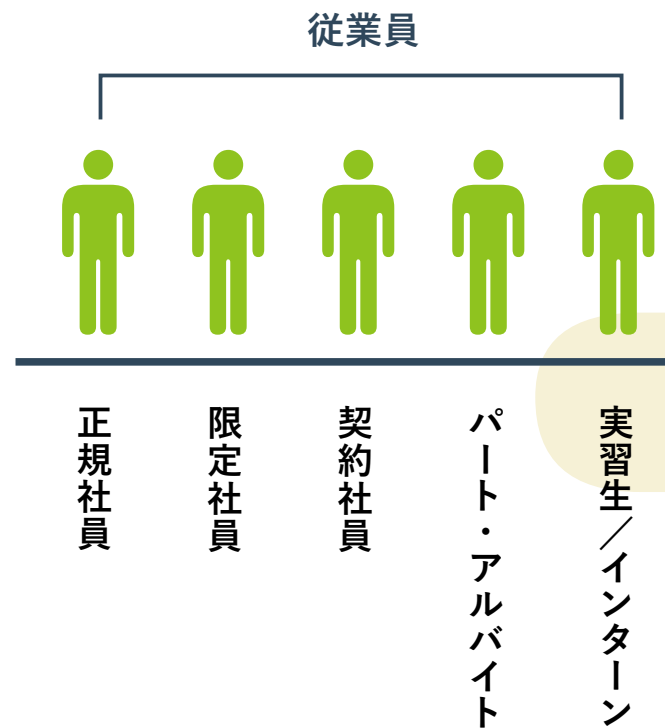
「フリーランス」は、新しい時代の人材ポートフォリオの担い手としての期待も高く、雇用と自営の間の「第三の働き方」として注目されている。フリーランスはどのような働き方をする人々なのか。一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会の定義によれば、「特定の企業や団体、組織に専従しない独立した形態で、自身の専門知識やスキルを提供して対価を得る人」であり、フリーランスとして働く人をフリーランサーと呼称している。

フリーランスの実態に関する文献は多くない。公的な統計では日本には341万人(内閣府2019<sup>※1</sup>)から390万人(労働政策研究・研修機構2019<sup>※2</sup>)規模のフリーランスがあると試算している。

リクルートワークス研究所では、2016年から全国約5万人の同一個人の就業実態を毎年追跡調査する「全国就業実態パネル調査(JPSED)」を実施しているが、この調査ではフリーランスを、①雇用者のいない自営業主もしくは内職であり、②実店舗をもたず、③農林漁業(業種)従事者ではない人、と定義している。2018年調査では、約472万人(就業者の約7.2%)がフリーランスであることが分かった。そのうち「本業」をフリーランスとして働いている人は約324万で、1年間で約19万人の「本業フリーランス」が増加した。一方、「副業」をフリーランスとして働く「副業フリーランス」は約148万で、1年間で約8万人増加していた。

本レポートは「全国就業実態パネル調査(JPSED)」の中から、フリーランスのみを抽出して再集計した調査結果をもとに、日本のフリーランスの実態を紹介する。フリーランスの①働き方、②能力開発、③生活、④キャリア、の4つに焦点をあて、サンプル数は少ないが、職種別、特に3つの職種(営業・販売職、クリエイティブ職、ソフトウェア・インターネット関連技術職)の現状についてまとめ、視覚的に表現した。フリーランスを理解するためのツールの1つとして活用していただきたい。

## ◆新しい時代の人材ポートフォリオ

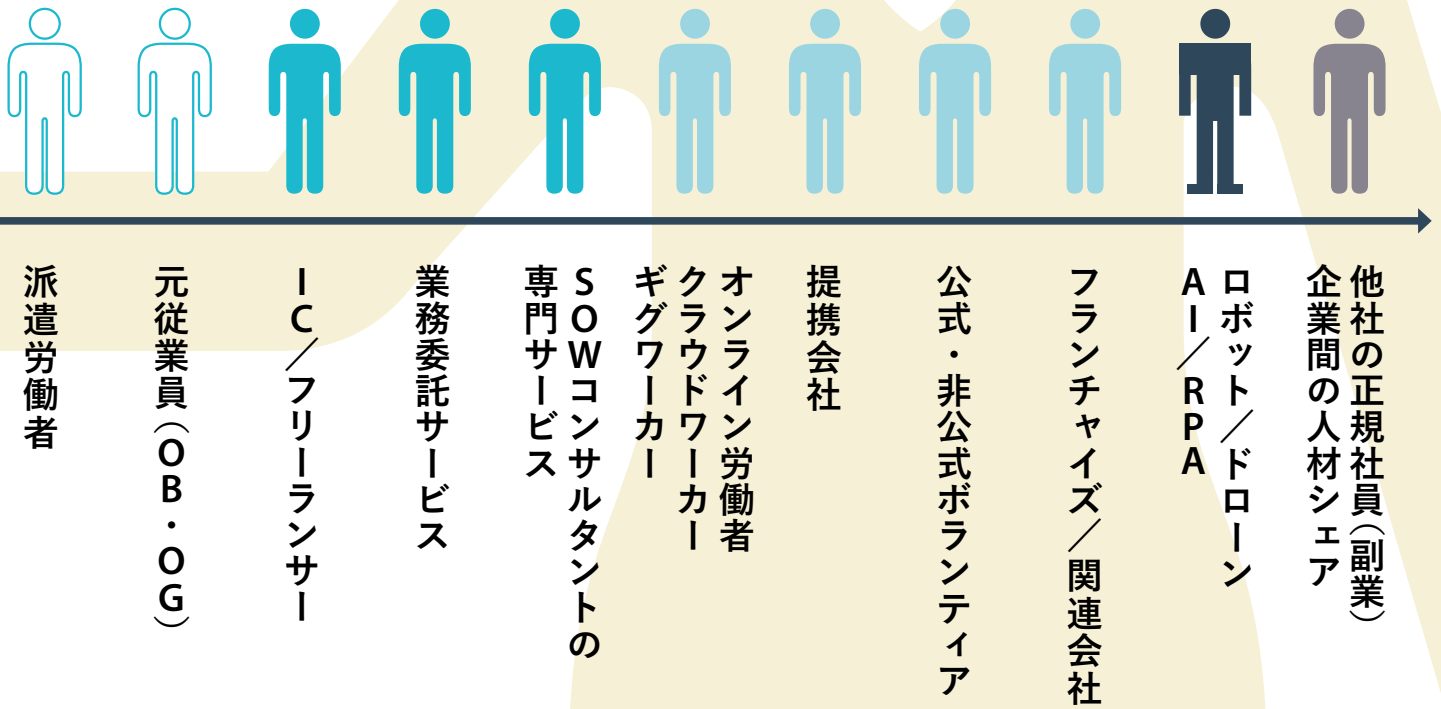


※1. 内閣府「日本のフリーランスについて—その規模や特徴、競争避止義務の状況や影響の分析—」(2019)  
推計対象は、農林漁業従事者を除く自営業主(雇なし・実店舗なし)・内職・一人社長  
フリーランス341万人(本業フリーランス228万人、副業フリーランス112万人)

※2. 労働政策研究・研修機構「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」(2019)  
推計対象は「ふだん、何か収入になる仕事をしている者」のうち、「法人(会社など)の経営者」、「個人事業主」、「個人業務請負・受託」、「自由業、フリーランス」、「インディペンデント・コントラクター」、「クラウドワーカー」、「自営型テレワーカー、在宅ワーカー」、「シルバー人材センターの会員」、「内職」を選択した者で、かつ、自身の店舗を構えて、主に一般の消費者を相手に、商品・サービスの販売や飲食の提供等を行っている「店主」でない者  
フリーランス390万人(本業フリーランス290万人、副業フリーランス100万人)

# のリアル

## 非従業員



出典：リクルートワークス研究所

## データで見るフリーランス（平均像）

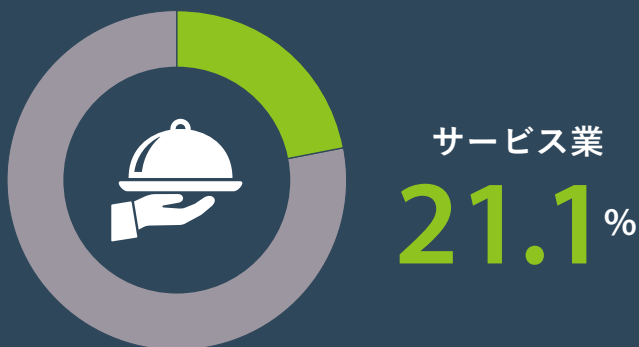
# 「フリーランス」とは、どのような人々か

ここでは本業フリーランスの全体像を把握するために、JPSED調査をもとに、日本のフリーランスの平均的な姿を描いた。次ページ以降ではさらにフリーランスの属性、フリーランスのキャリア形成、フリーランスの働き方について紹介する。

### ◆性別・平均年齢

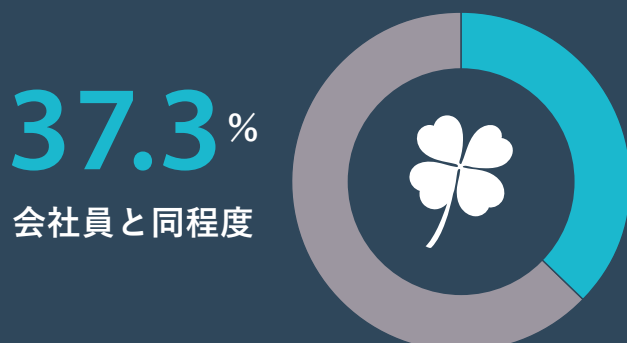


### ◆業種



フリーランス  
約472万人

### ◆幸福度



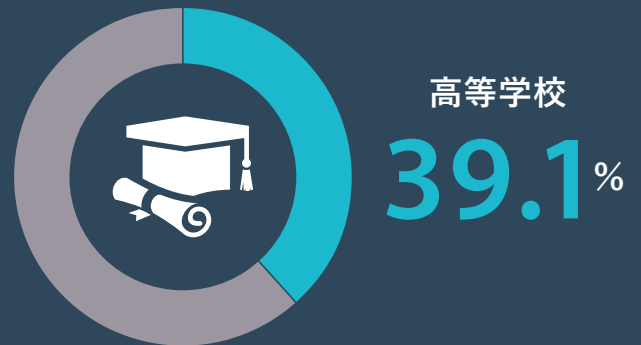
### ◆社会保障加入率



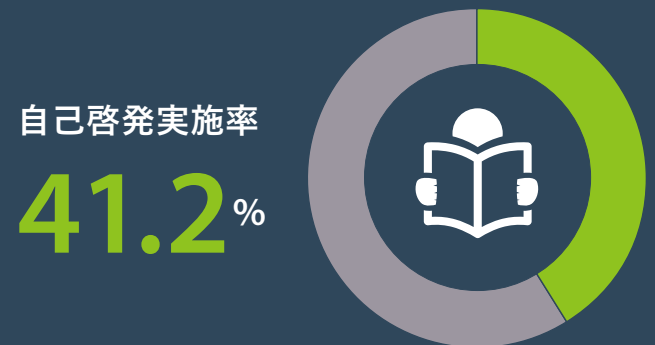
◆週の労働時間



◆最終学歴



◆自己啓発



◆フリーランスになるために重要なこと

生活資金を蓄えること

コネクションをつくること

医療保険(民間)

**54.8**%



**44.8**%



**33.7**%

## フリーランスの中心は、 スキル、技術、経験を備えた50歳代男性

JPSED調査におけるフリーランス率は約3%。フリーランスはどのような人たちなのか、その属性(学歴、配偶者、家族、業種、職種)の状況について見ていく。

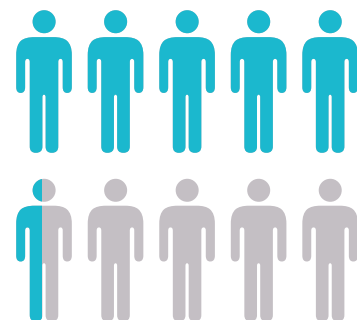
### ◆フリーランス率



**3.3%**  $\frac{1,257 \text{人 (フリーランス数)}}{37,936 \text{人 (JPSED2019 における就業者数)}}$

### ◆性年代

男50歳代~  
**54.8%**



### ◆最終学歴

**39.1%**  
高等学校

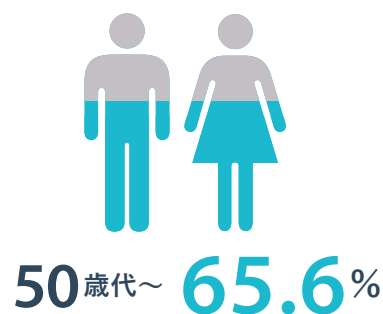
**29.8%**  
大学・大学院

**24.4%**  
専門・短大・高専

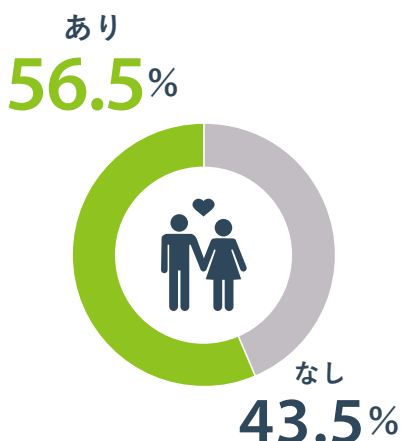
### ◆平均年齢



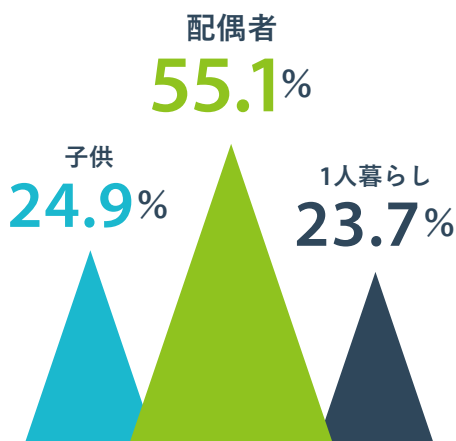
### ◆年代



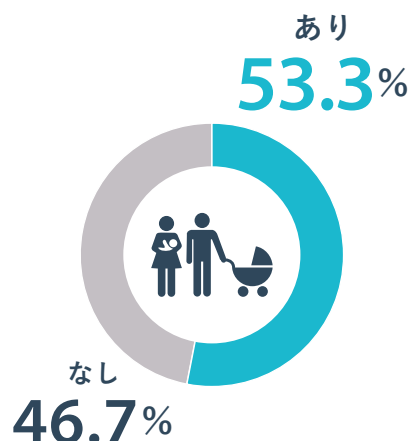
### ◆配偶者有無



### ◆同居家族



### ◆子供有無





## ◆業種(17分類) TOP5

1. サービス業



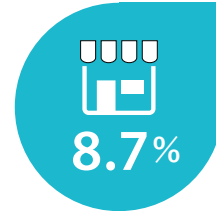
2. 情報通信業



3. 建築業



4. 卸売・小売業



5. 製造業



その他の業種 25.3%

## ◆職種(45分類) TOP5

1. 営業・販売職



2. 建築・土木・  
測量技術者



3. 生産工程・  
労務職



4. その他の専門的・  
技術的職業



5. クリエイティブ職  
(美術家、写真家、デザイナー)



その他の職種 23.4%

## ◆勤務場所

1. 自宅



2. 職場  
30.5%

3. 移動中  
8.7%

4. カフェ・ファミレス  
6.0%

## ◆登録・所属している団体・クラウドソーシング

1. どこにも所属していない



2. ランサーズ  
3.8%

3. クラウドワークス  
3.6%

## 自由度の高さがフリーランスの魅力

フリーランスと会社員の働き方を比較してみると、注目すべきは労働時間と通勤時間の少なさである。週の労働時間はフリーランスが31.9時間、会社員が42.1時間と10.2時間の差がある。「通勤0分」の自宅勤務はフリーランスが45.2%、会社員が1.8%。平均通勤時間は、フリーランスの44.8分に対して、会社員は68.2分と23.4分も長い。フリーランスは6割以上が自分で勤務日や勤務時間を選ぶことができることから、働く自由度の高さがうかがえる。

フリーランス

### ◆労働日数・時間（週平均）



### ◆通勤 平均時間

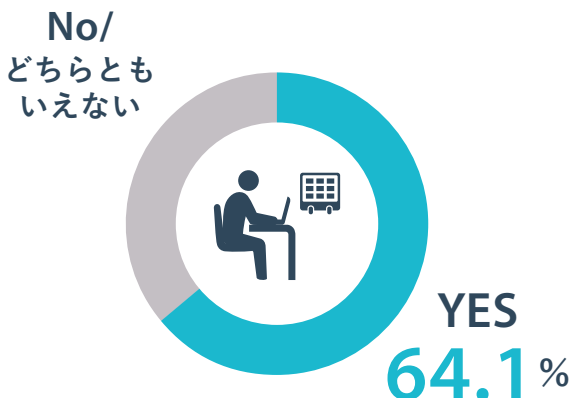


0分は  
45.2%

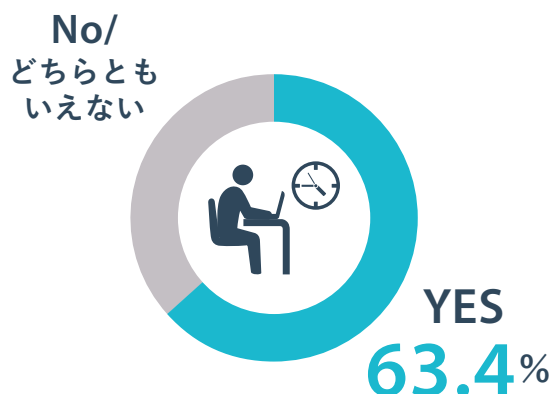
### ◆家事・育児 平均時間（勤務日）



### ◆自分で勤務日を選べた



### ◆自分で勤務時間を選べた



仕事の



会社員 (参考)

◆労働日数・時間 (週平均)



5.1 日/週

42.1 時間/週

◆通勤 平均時間

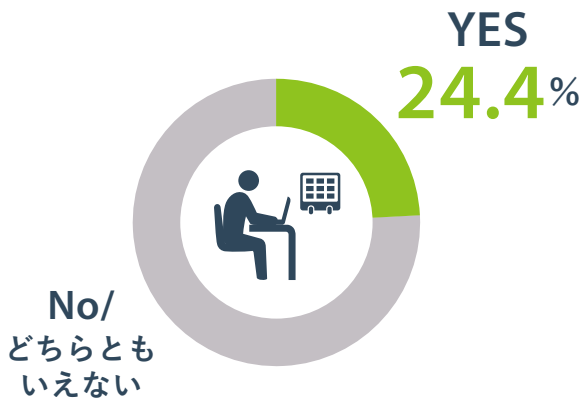
0分は  
1.8%



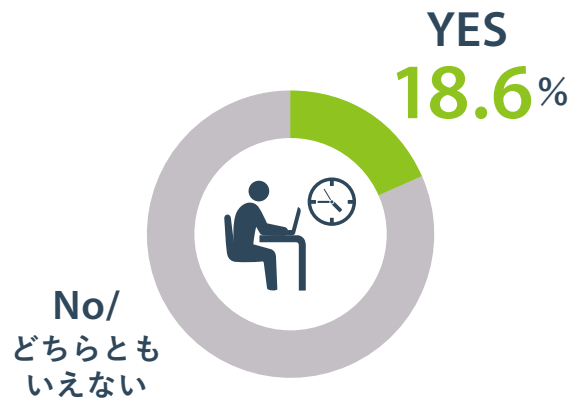
◆家事・育児 平均時間 (勤務日)



◆自分で勤務日を選べた



◆自分で勤務時間を選べた



柔軟性

## 幸福度と生活満足度は、正社員と互角

フリーランスの幸福度と生活満足度を会社員と比較すると、ほぼ同程度である。

仕事と生活の両立ストレスをみると、ストレスを感じている人と感じていない人はほぼ差がない。

しかし、年代や職種によって、その度合いの大きさに違いが見られた。

### Q. あなたはどの程度幸せですか？



#### 会社員 (参考)



ストレスを感じていないのは

# 60~70 歳代

のフリーランス

- ・年齢が高いほどストレス度合いが低い (60代39.2%、70代37.3%)
- ・特に、管理職とIT系は他の職種と比べてよりストレスを抱えていない。 (管理職36.5%、IT系36.6%)



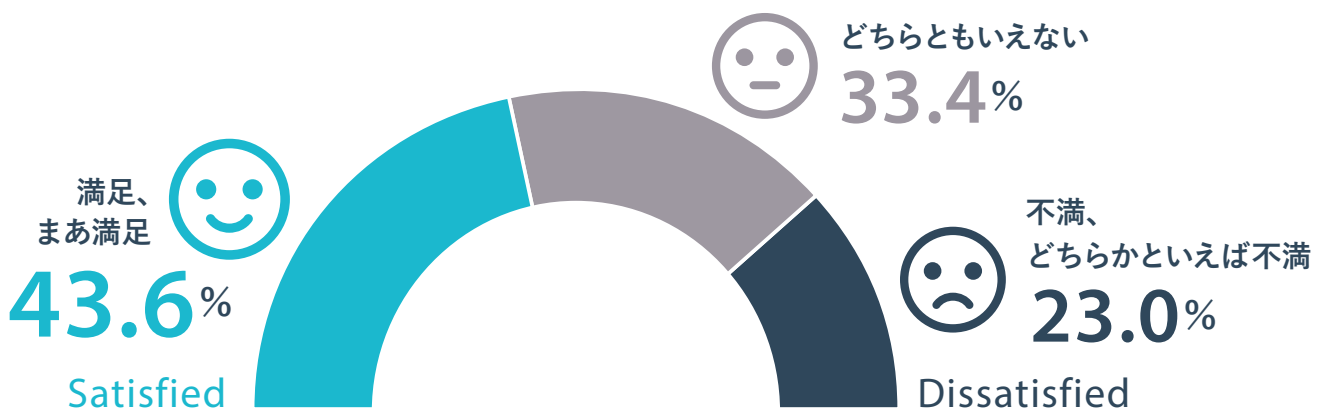
### 仕事と生活の

# 48.1%

感じていなかった



## Q. 生活全般についてどの程度満足していますか？



### 会社員 (参考)



### 両立ストレス

51.9%

感じていた



ストレスを感じているのは

**20~30** 歳代

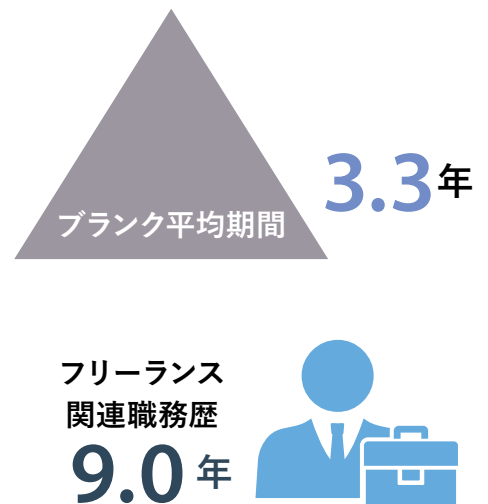
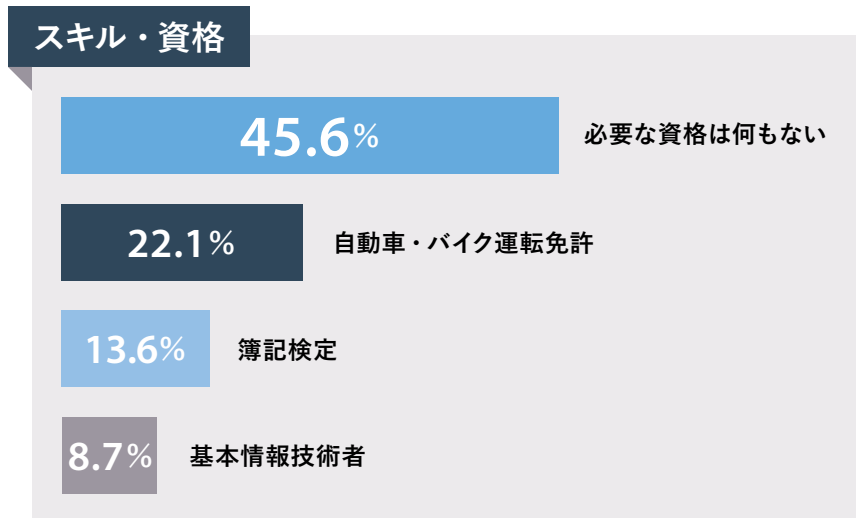
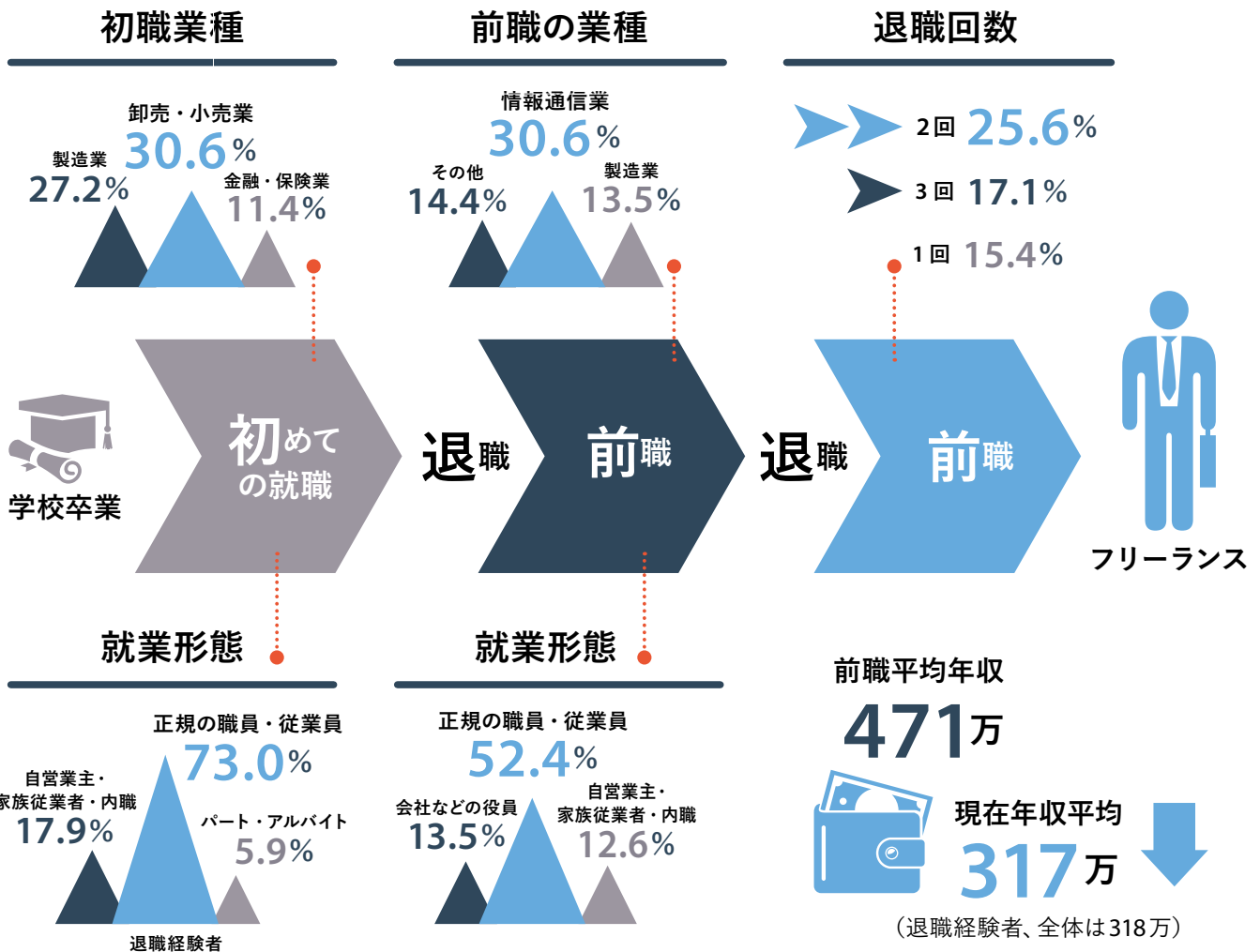
のフリーランス

- ・年齢が若いほどストレスをより強く感じている。(20代78.0%、30代65.0%)
- ・特に、その他専門・技術職とドライバーは他の職種と比べて、よりストレスを抱えている。(その他専門・技術職 55.7%、ドライバー 61.7%)



## 1. 営業・販売職

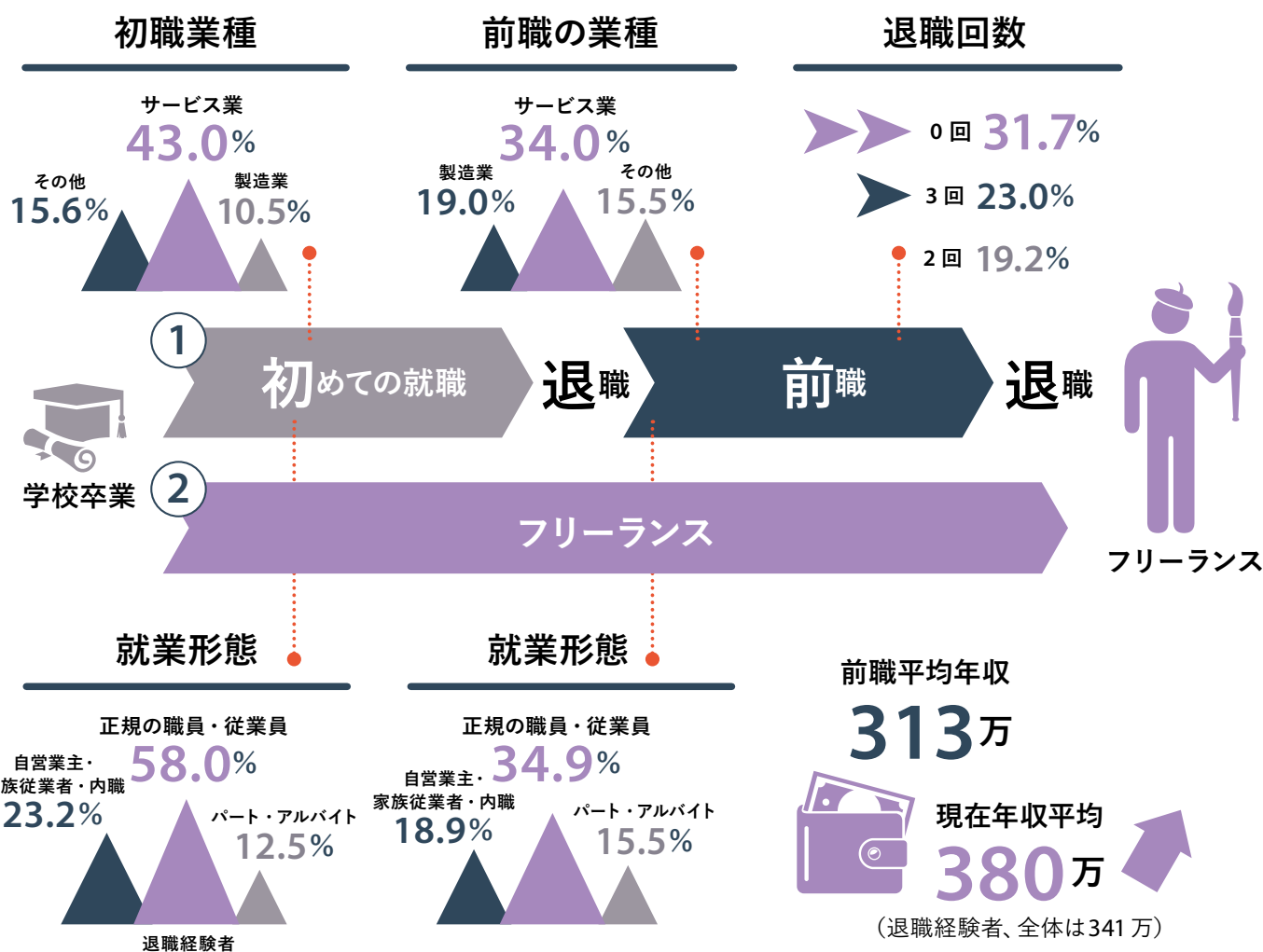
営業系フリーランスのキャリアを見ると、初職の業種は卸売・小売業、前職は情報通信業が多く、2~3社の勤務経験があり、現在の仕事に関連する職務で約9年の経験を持つことが分かった。退職経験者の現在の平均年収は317万円と、前職と比べると154万円下がっている。



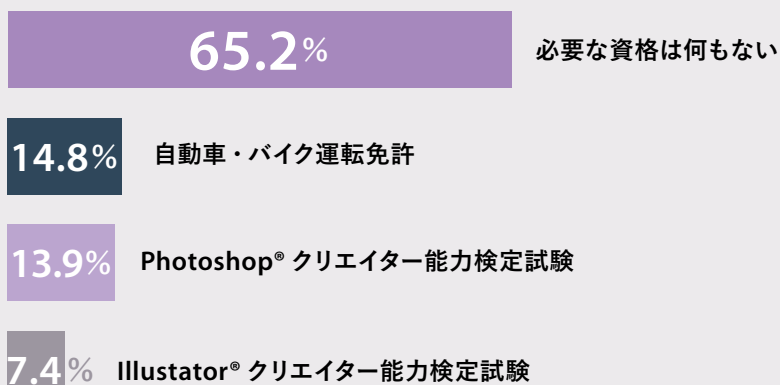
## 2. クリエイティブ職（美術家・写真家・デザイナー）



クリエイティブ系フリーランスのキャリアは、2つの傾向が見られる。1つは学校卒業後、約3割の人が初職からフリーランスに、もう1つは「サービス業」で2～3社で勤務経験する人である。現在の仕事に関連する職務で約7年の経験を持つ。退職経験者の現在の平均年収は380万円と、前職と比べると67万円上がっている。



### スキル・資格



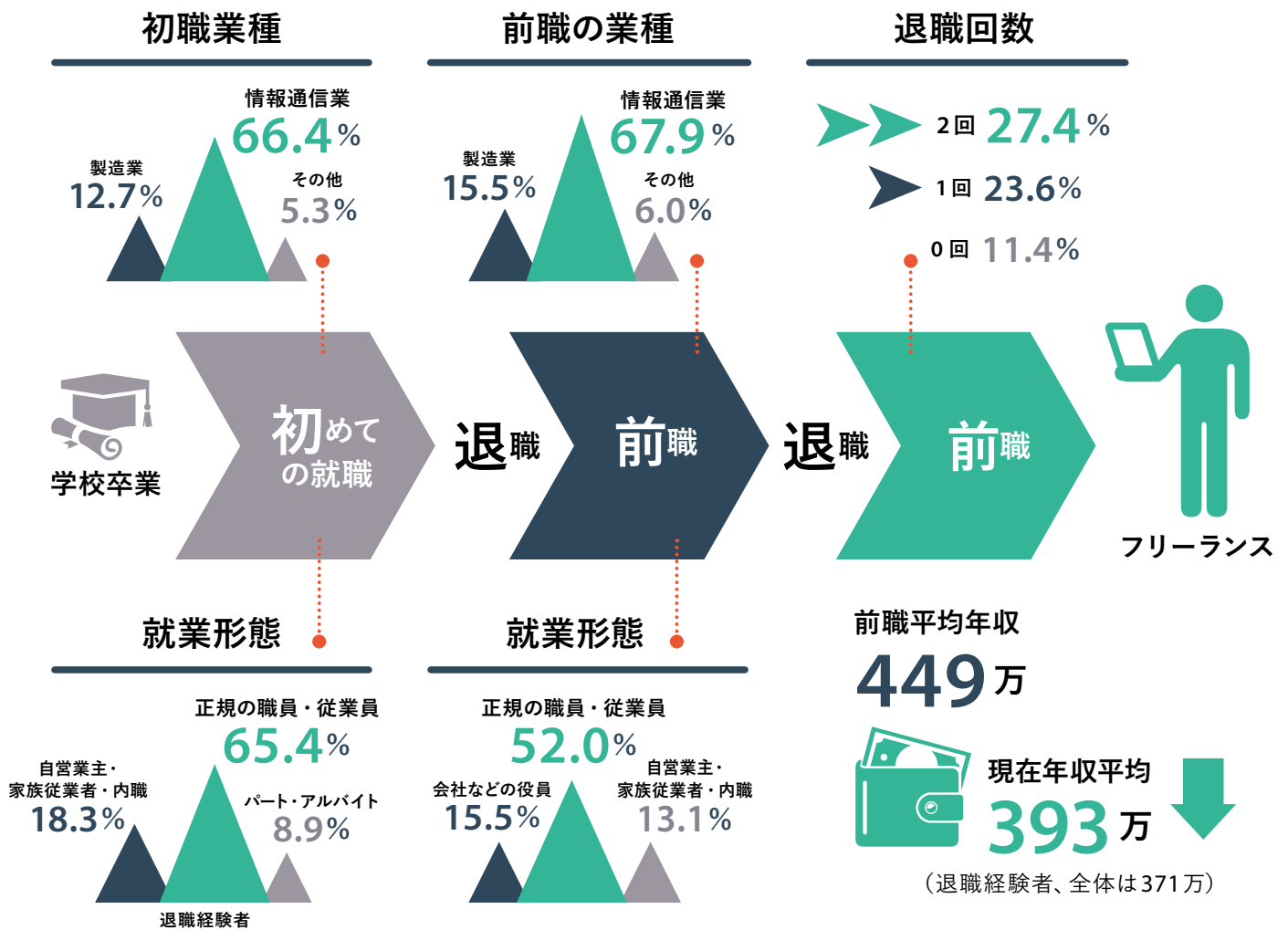
フリーランス  
関連職務歴  
7.4年



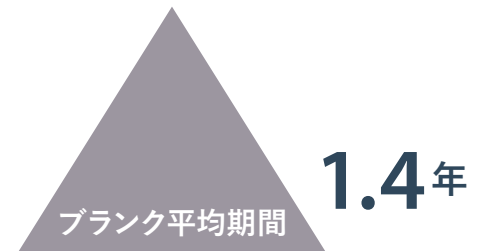
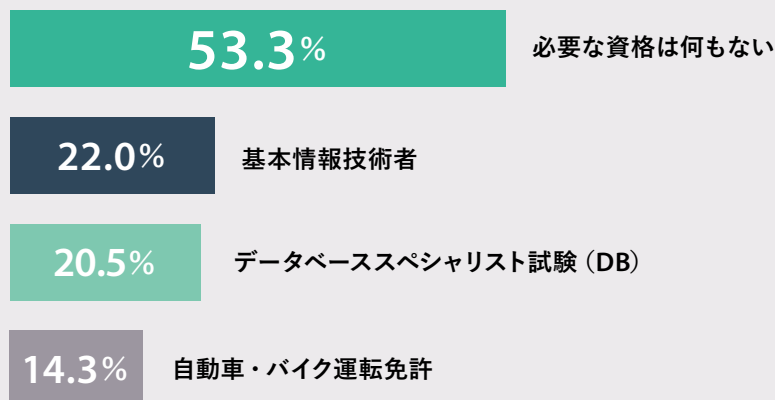


## 3. ソフトウェア・インターネット関連技術職

IT系フリーランスのキャリアを見ると、「情報通信業」で1~2社の勤務経験がある人が多く、現在の仕事に関連する職務で約8年の経験を持つことが分かった。仕事がなかったブランク期間は平均1.4年、退職経験者の現在の平均年収は393万円と、前職と比べると56万円下がっている。



### スキル・資格



フリーランス  
関連職務歴  
**8.4年**

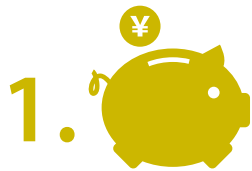






## 4. フリーランスになるために重要なこと

フリーランスになるためには、「生活資金を蓄えること」「受注先とのコネクションをつくること」が重要である。職種別で見ると、この2つに加えて「コミュニケーション力」「営業力」を重要視している傾向がある。



1. 生活資金を蓄えること



2. 受注先とのコネクションをつくること

44.8%

33.7%



3. コミュニケーション力

24.8%



4. 情報収集力

24.7%



5. 問題解決力

21.6%



6. 営業力

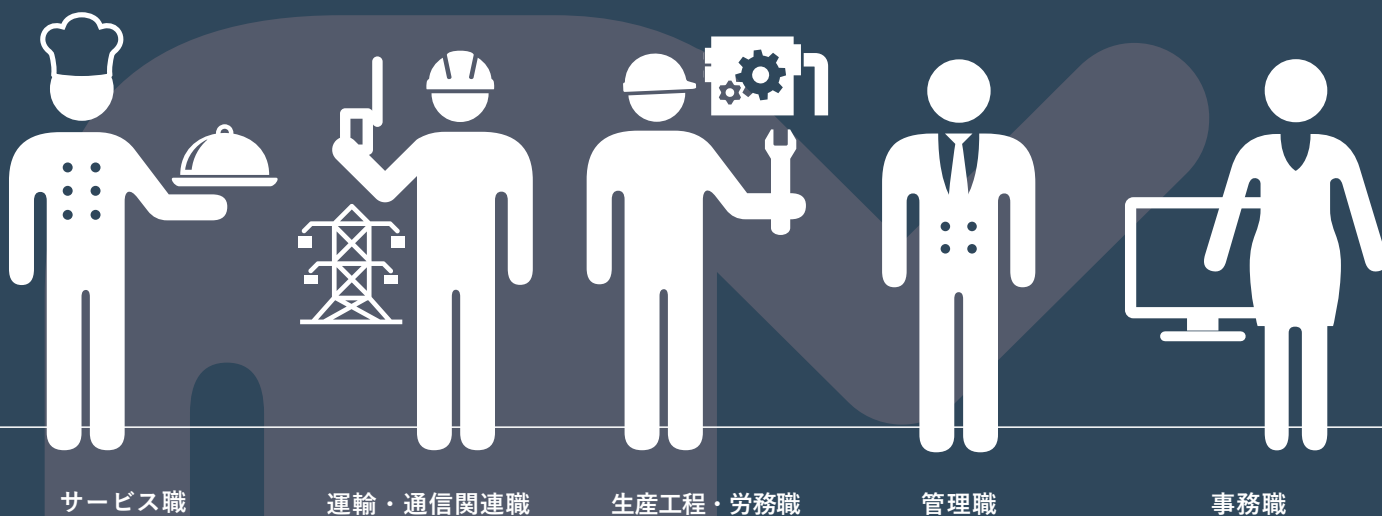
21.2%

## 職種別に見たフリーランスの実像

# よりミクロに働き方、能力開発、生活、キャリアを探る

ここからは、フリーランスの実像についてより詳細に検証していく。

JPSED調査をもとに、3職種（営業・販売職、クリエイティブ職、ソフトウェア・インターネット関連技術職）をはじめ職種別に属性、働き方、能力開発、生活、キャリアに関して検証し、主な特徴をピックアップした。



### ■ フリーランスの属性

19 性別・年代・学歴

### ■ 働き方

- 21 労働日数・労働時間
- 22 通勤時間
- 23 勤務日・勤務時間を選ぶことができたか
- 24 働く場所を選ぶことができたか
- 25 家事育児時間
- 26 フリーランス登録サイト・団体

### ■ 能力開発

- 27 自己啓発活動の有無・学習活動
- 28 OJT・OFF-JTの機会
- 29 仕事レベルアップ

大学卒・大学院  
修了の比率は

42%

「とても幸せ」「幸せ」  
と答えた人

45%

80%が  
在宅ワーク



建築・土木・測量技術者



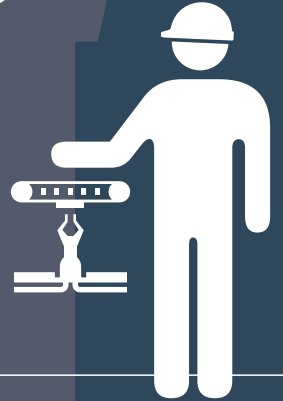
ソフトウェア・  
インターネット  
関連技術者



営業・販売職



クリエイティブ職  
(美術家、写真家、  
デザイナー)



その他の専門的・  
技術的職業

## ■ 生活

- 30 幸福度・生活満足度
- 31 社会保障の加入率
- 32 健康保険・年金の加入状況
- 33 仕事と家庭の両立に伴うストレス

## ■ キャリア

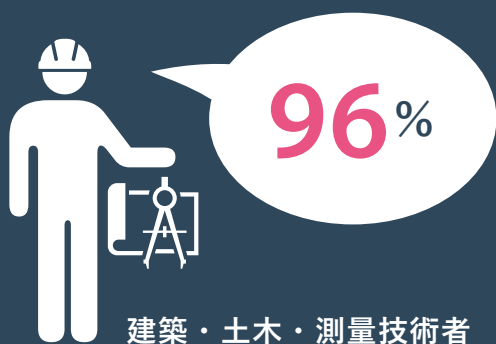
- 34 入職経路
- 35 初職の就業形態
- 36 前職の年収
- 37 現在の年収
- 38 前職→現職 年収増減率
- 39 退職回数
- 40 前職の退職理由
- 41 フリーランスになるにあたっての重要事項

## 性別・年代・学歴

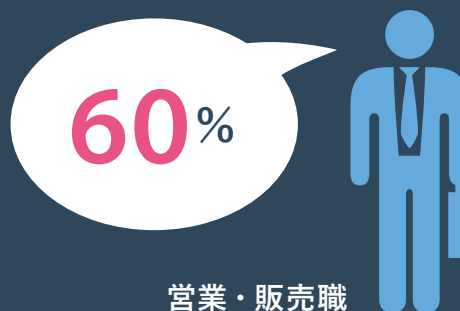
職種別に性別を見ると、「建築・土木・測量技術者」(96%)、「営業・販売職」(95%)、「運輸・通信関連職」(94%)で著しく男性比率が高い。

年代では「管理職」「営業・販売職」の年齢が高く、60歳以上の割合が「管理職」で71%、「営業・販売職」でも60%となっている。

### 男性比率

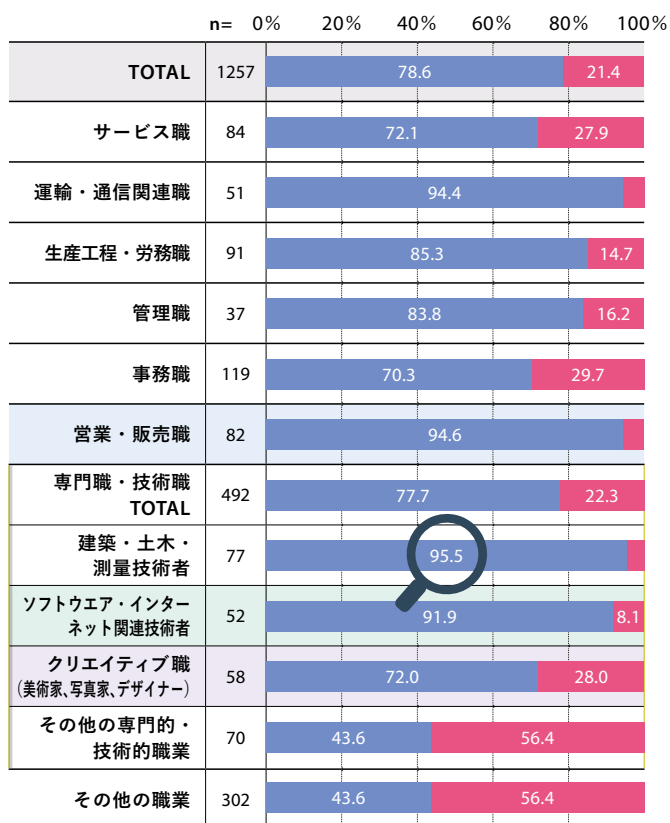


### 60歳以上のシニア比率



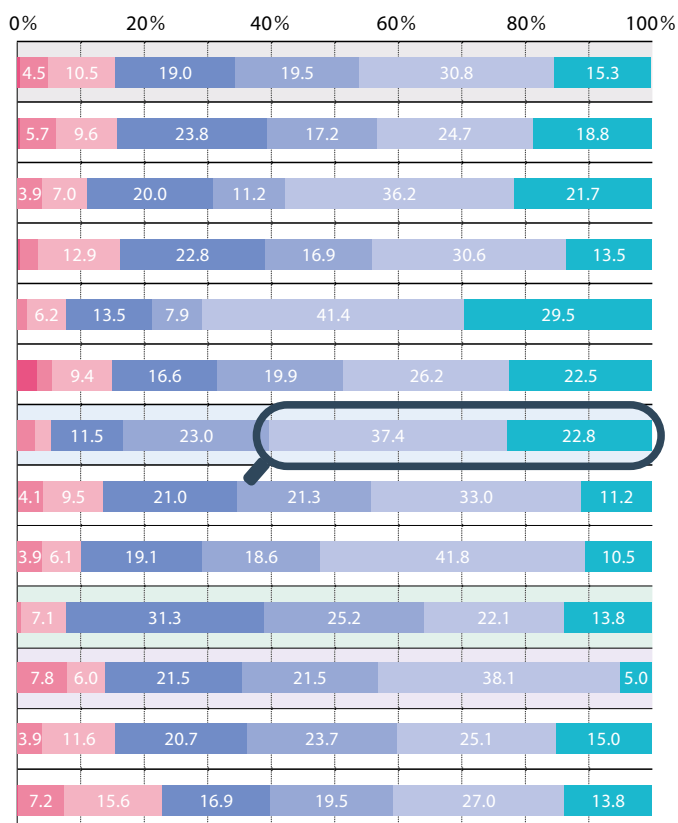
#### <性別>

■ 男性 ■ 女性



#### <年代>

■ 15~19歳 ■ 20~29歳 ■ 30~39歳 ■ 40~49歳  
■ 50~59歳 ■ 60~69歳 ■ 70歳以上



最終学歴を見ると、全体では「専修各種学校・短期大学・高等工業専門学校」は女性が38%と全体(24%)より高い。  
 職種別に見ると、「大学・大学院」では、「ソフトウェア・インターネット関連技術者」および「その他の専門的・技術的職業」  
 がそれぞれ42%、54%と、全体(30%)より大幅に高い。

## 大学卒・大学院修了の比率(全体30%)



### <学歴>

■ [卒業]小学校・中学校 ■ [卒業]高等学校 ■ [卒業]専修各種学校・短期大学・高等工業専 ■ [卒業]大学・大学院  
 ■ [在学中]高等学校 ■ [在学中]専修各種学校・短期大学・高等工業専門学校 ■ [在学中]大学・大学院

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	1257	6.2	39.1	24.4	29.8		
サービス職	84	7.6	50.5	23.1	18.5		
運輸・通信関連職	51	11.8	52.8	16.0	18.4		
生産工程・労務職	91	14.3	50.0	25.1	10.3		
管理職	37		40.0	23.1	36.9		
事務職	119	4.6	40.8	22.7	31.5		
営業・販売職	82	4.3	52.4	14.6	28.7		
専門職・技術職 TOTAL	492	3.3	29.7	29.2	37.4		
建築・土木・測量技術者	77	11.4	34.9	26.1	27.5		
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52		28.4	28.0	41.7		
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58	5.1	18.0	48.2	28.8		
その他の専門的・技術的職業	70		20.0	25.2	53.8		
その他の職業	302	9.0	41.2	21.7	27.3		

## 労働日数・労働時間

フリーランス全体の平均労働日数は4.7日で、会社員の平均労働日数の5.1日より少ない。職種別に見ると、「クリエイティブ職」の平均労働日数が5.3日と多く、「運輸・通信関連職」「建築・土木・測量技術者」が5.0日と続く。

労働時間については、「運輸・通信関連職」「建築・土木・測量技術者」「クリエイティブ職」で週の平均労働時間が37～38時間と、全体(32時間)よりやや長い。一方、「管理職」は平均労働時間が26時間とやや短い。

労働日数 (全体平均4.7日)



労働時間 (全体平均32時間)



〈職種別労働日数〉

■ 1週間の労働日数

	n=	1日	2日	3日	4日	5日	6日
TOTAL	1257	4.7					
サービス職	84	4.5					
運輸・通信関連職	51	5.0					
生産工程・労務職	91	4.9					
管理職	37	4.5					
事務職	119	4.7					
営業・販売職	82	4.7					
専門職・技術職 TOTAL	492	4.8					
建築・土木・測量技術者	77	5.0					
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52	4.8					
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58	5.3					
その他の専門的・技術的職業	70	4.5					
その他の職業	302	4.6					

〈職種別労働時間〉

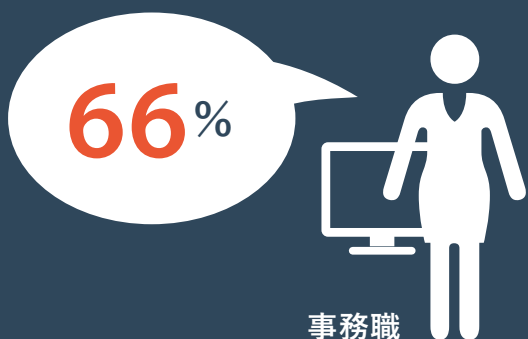
■ 1週間の労働時間

	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間
TOTAL	31.9				
サービス職	30.5				
運輸・通信関連職	37.1				
生産工程・労務職	36.4				
管理職	26.4				
事務職	29.1				
営業・販売職	31.5				
専門職・技術職 TOTAL	33.1				
建築・土木・測量技術者	38.4				
ソフトウェア・インターネット関連技術者	36.2				
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	37.2				
その他の専門的・技術的職業	23.1				
その他の職業	30.1				

# 通勤時間

職種別に通勤時間を見ると、通勤時間が「0分」と回答した人は多い順に「事務職」が66%、「クリエイティブ職」(59%)、「営業・販売職」(56%)。特に事務職は、平均の通勤時間が21分と全体の45分と比較しても大変短い。「生産工程・労務職」は、「1～2時間未満」が33%と全体(17%)より大幅に高く、平均でも62分と長い。

## 在宅勤務



## 通勤時間 (全体平均45分)



### 〈職種別通勤時間〉

0分 1分～30分未満 30分～1時間未満 1～2時間未満 2時間以上

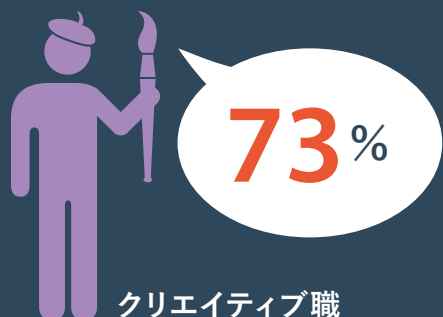
	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	平均値
TOTAL	1257	45.5	12.7	11.6	17.3	13.1		44.8
サービス職	84	23.4	19.8	19.6	26.5	18.2		53.0
運輸・通信関連職	51	28.7	26.2	13.7	17.2	11.9		61.5
生産工程・労務職	91	18.4	14.7	16.8	33.1	16.9		62.0
管理職	37	55.8	10.6	7.1	23.3	47.0		22.8
事務職	119	66.1	12.9	8.2	7.0	7.3		20.9
営業・販売職	82	5.6	13.0	15.6	7.1	8.2		25.0
専門職・技術職 TOTAL	492	48.4	9.9	9.9	16.5	15.0		48.8
建築・土木・測量技術者	77	42.4	10.0	11.8	20.1	14.6		57.4
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52	46.5	8.4	7.3	12.2	21.7		60.8
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58	58.8	10.0	7.5	14.7	10.4		36.1
その他の専門的・技術的職業	70	34.9	12.7	10.3	21.7	19.6		59.0
その他の職業	302	45.5	12.4	12.7	17.4	12.0		45.5

## 勤務日・勤務時間を選ぶことができたか

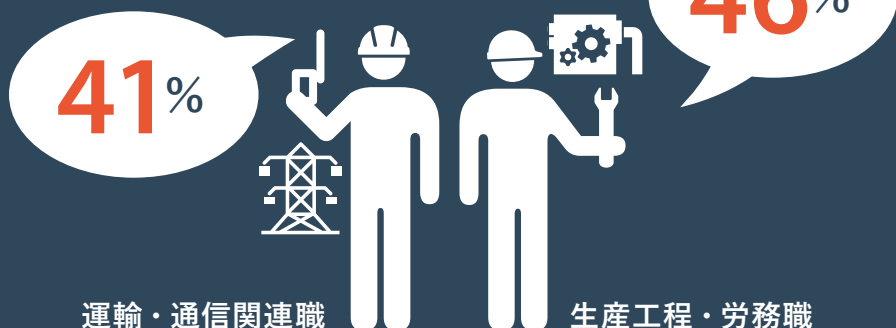
「勤務日を選ぶことができたか」について、職種別では、「管理職」の「あてはまる」が80%、「クリエイティブ職」では73%で、全体より柔軟性が大幅に高い。一方、「運輸・通信関連職」で「あてはまらない」のスコアが31%と全体より高い。同じく「生産工程・労務職」も26%で柔軟性が低い。

「勤務時間を選ぶことができたか」については「管理職」の「あてはまる」が8割を超えており、全体より大幅に高い。また、「運輸・通信関連職」「生産工程・労務職」のスコアは5割以下で、全体より柔軟性が低い。

### 勤務日を選べた



### 勤務時間を選べた



〈勤務日を選ぶことができた〉

■あてはまる ■どちらともいえない ■あてはまらない

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	1257		64.1		19.9		16.2
サービス職	84		69.0		13.2		17.8
運輸・通信関連職	51		46.8		22.5		30.6
生産工程・労務職	91		52.2		21.5		26.2
管理職	37		80.3		13.8		5.9
事務職	119		70.9		20.8		8.3
営業・販売職	82		69.3		23.2		7.4
専門職・技術職 TOTAL	492		68.4		16.8		14.8
建築・土木・測量技術者	77		64.3		16.6		19.1
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52		64.8		16.9		18.3
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58		73.1		15.6		11.4
その他の専門的・技術的職業	70		65.8		16.6		17.6
その他の職業	302		55.9		25.1		19.0

〈勤務時間を選ぶことができた〉

■あてはまる ■どちらともいえない ■あてはまらない

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL		63.4		18.5		18.0
サービス職		68.7		11.9		19.4
運輸・通信関連職		40.7		22.5		36.7
生産工程・労務職		45.6		23.9		30.5
管理職		81.3		12.8		5.9
事務職		75.7		14.5		9.9
営業・販売職		70.1		18.4		11.6
専門職・技術職 TOTAL		65.7		17.6		16.7
建築・土木・測量技術者		64.7		14.9		20.4
ソフトウェア・インターネット関連技術者		59.1		17.1		23.8
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)		70.1		15.6		14.4
その他の専門的・技術的職業		60.6		17.8		21.7
その他の職業		58.9		21.8		19.4



# 働く場所を選ぶことができたか

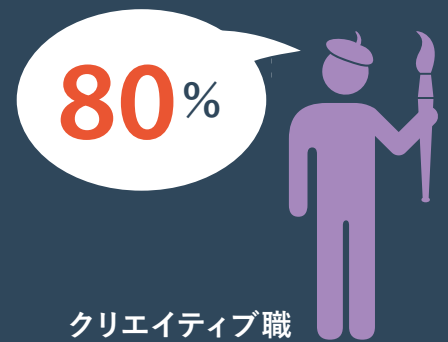
職種別では、「管理職」「事務職」「営業・販売職」「クリエイティブ職」「その他の専門的・技術的職業」で「あてはまる」が6割程度と全体より高い。一方、「運輸・通信関連職」「生産工程・労務職」では「あてはまる」がそれぞれ38%、24%と全体より低い。勤務場所については、「管理職」「事務職」「営業・販売職」「クリエイティブ職」で「自宅」が7～8割と全体(64%)より高い。一方、「サービス職」「運輸・通信関連職」「生産工程・労務職」「ソフトウェア・インターネット関連技術者」では、「職場(自社および客先)以外で仕事をすることがない」が全体(30%)より5ポイント以上高い。「クリエイティブ職」の14%はカフェを利用している。

## 働く場所を選べた



管理職、事務職、営業・販売職、クリエイティブ職、  
その他の専門的・技術的職業

## 在宅ワーク



### 〈勤務場所を選ぶことができた〉

■あてはまる ■どちらともいえない ■あてはまらない

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	1257		51.1	18.7	29.2		
サービス職	84		50.3	15.2	34.4		
運輸・通信関連職	51		38.4	22.8	38.8		
生産工程・労務職	91		24.2	23.9	51.9		
管理職	37		59.6	16.3	24.1		
事務職	119		61.0	19.7	19.3		
営業・販売職	82		58.5	18.4	23.1		
専門職・技術職 TOTAL	492		68.4	16.8	14.8		
建築・土木・測量技術者	77		49.4	14.3	36.3		
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52		43.5	20.5	36.0		
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58		61.7	17.5	20.8		
その他の専門的・技術的職業	70		59.6	18.9	21.6		
その他の職業	302		49.3	22.0	28.7		

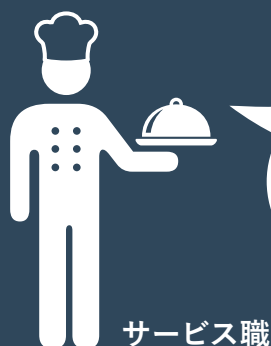
## 家事育児時間（働いていた日・休日）

職種別に働いていた日の家事育児の時間を見ると、「サービス職」で平均が118分となっており、全体より長い。一方、「営業・販売職」では61分にとどまり、平均と比べても短い。休日の家事育児の時間で見ると、働いていた日と異なり、「営業・販売職」で平均値が153分と全体の131分よりも長い。

そのほか、「その他の専門的・技術的職業」でも平均が166分と長い。

働いていた日の家事育児時間（全体均平均61分）

休日の家事育児時間（全体平均131分）



### 〈働いていた日〉

■ 働いていた日の平均時間

	n=	0分	30分	60分	90分	120分	150分
TOTAL	1257		98.3				
サービス職	84		117.5				
運輸・通信関連職	51		72.4				
生産工程・労務職	91		93.5				
管理職	37		83.3				
事務職	119		89.5				
営業・販売職	82		60.8				
専門職・技術職 TOTAL	492		97.0				
建築・土木・測量技術者	77		86.0				
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52		80.3				
クリエイティブ職 (美術家、写真家、デザイナー)	58		82.7				
その他の専門的・技術的職業	70		125.4				
その他の職業	302		116.4				

### 〈休日〉

■ 休日の平均時間

	0分	30分	60分	90分	120分	150分	180分
TOTAL			130.7				
サービス職			134.1				
運輸・通信関連職			147.9				
生産工程・労務職			135.2				
管理職			110.2				
事務職			99.6				
営業・販売職			152.7				
専門職・技術職 TOTAL			132.7				
建築・土木・測量技術者			139.2				
ソフトウェア・インターネット関連技術者			122.5				
クリエイティブ職 (美術家、写真家、デザイナー)			126.8				
その他の専門的・技術的職業			166.0				
その他の職業			130.8				

# フリーランス登録サイト・所属団体

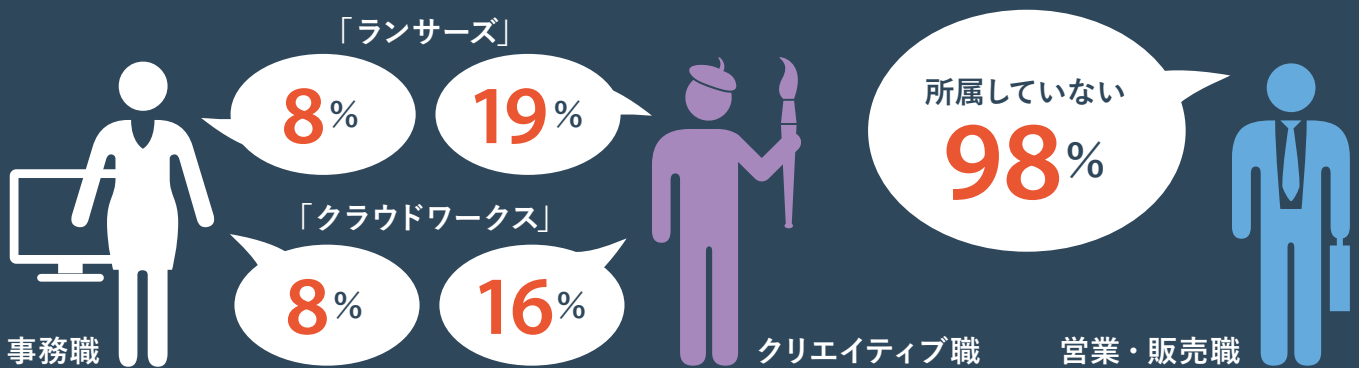
全体では「どこにも所属していない」が92%。

「クリエイティブ職」は「クラウドワークス」に16%、「ランサーズ」に19%が登録している。

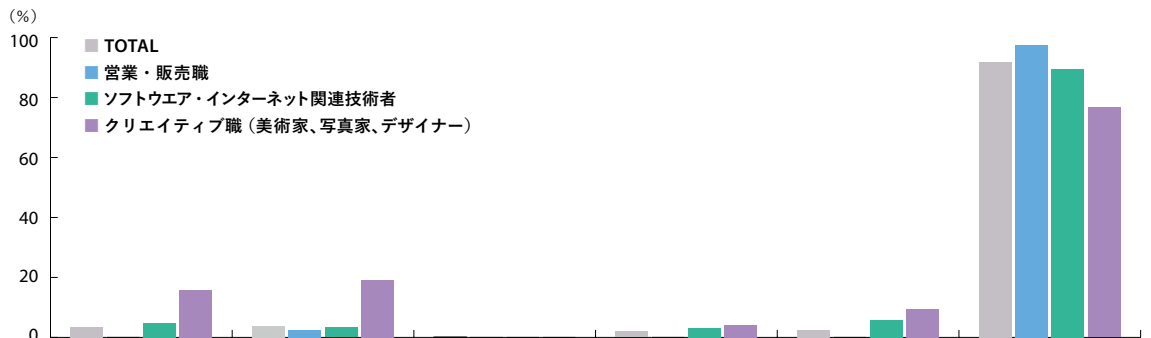
「事務職」で「クラウドワークス」「ランサーズ」に登録している人は1割に満たない。

「営業・販売職」で「どこにも所属していない」人は他の職種と比べても高く、97%以上となっている。

## 登録サイト・所属団体



〈登録サイト・所属団体〉  
(複数回答)



	n=	クラウドワークス	ランサーズ	フリーランス協会	プロダクション (会社員としてではなく、 業務委託)	所属団体その他	どこにも所属 していない
TOTAL	588	3.6	3.8	0.1	2.0	2.5	91.9
サービス職	39	0.3	0.0	0.0	5.5	0.0	94.2
運輸・通信関連職	22	0.0	0.0	0.0	4.6	4.4	91.0
生産工程・労務職	35	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
管理職	29	5.1	0.0	0.0	0.0	5.0	89.9
事務職	56	8.4	7.6	0.0	0.0	0.0	91.6
営業・販売職	33	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	97.5
専門職・技術職 TOTAL	235	4.6	5.5	0.3	2.0	4.7	90.1
建築・土木・測量技術者	32	0.0	0.0	0.0	1.6	2.0	96.3
ソフトウェア・インターネット関連技術者	30	4.9	3.3	0.0	3.1	5.9	89.4
クリエイティブ職	28	15.7	19.1	0.0	4.2	9.6	76.7
その他の専門的・技術的職業	36	0.7	1.8	0.0	5.1	0.0	93.1
その他の職業	148	3.2	3.1	0.0	2.6	1.3	91.7

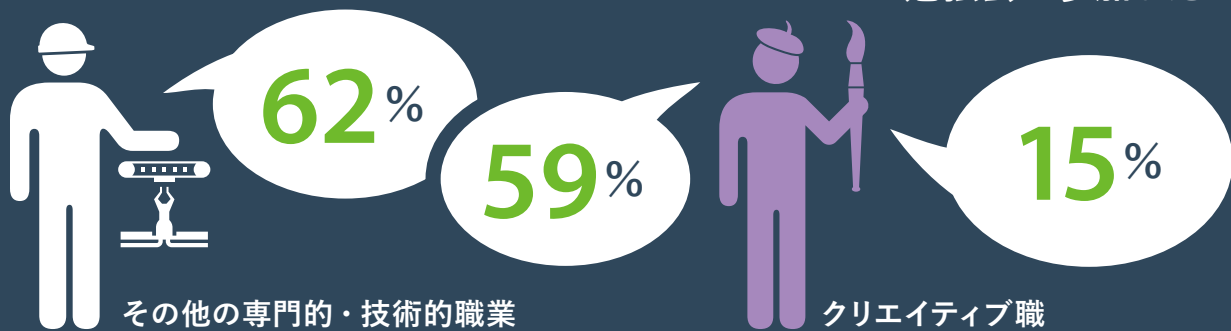
## 自己啓発活動の有無・学習活動

職種別に自己啓発活動の有無を見ると、「その他の専門的・技術的職業」で62%、「クリエイティブ職」で59%と高い。一方、「運輸・通信関連職」では14%にとどまっており、全体より大幅に低くなっている。

学習活動の内容については、「事務職」で「インターネットなどで調べものをした」のスコアが68%となっており全体より高い。「営業・販売職」では、「eラーニングを受けた」が9%と、全体(2%)よりも高い。「クリエイティブ職」「その他の専門的・技術的職業」では「単発の講座・セミナー・勉強会に参加した」が15%、「本を読んだ」が47%と、全体より高くなっている。

自己啓発活動を行った

単発の講座・セミナー・勉強会に参加した



### 〈自己啓発の有無〉

■ 自己啓発を行った ■ 自己啓発を行なわなかった

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	1257		41.2		58.8		
サービス職	84		43.9		56.1		
運輸・通信関連職	51	14.2			85.8		
生産工程・労務職	91		27.7		72.3		
管理職	37		36.1		63.9		
事務職	119		34.5		65.5		
営業・販売職	82		35.2		64.8		
専門職・技術職 TOTAL	492		52.5		47.5		
建築・土木・測量技術者	77		36.8		63.2		
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52		40.3		59.7		
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58		58.7		41.3		
その他の専門的・技術的職業	70		62.3		37.7		
その他の職業	302		35.5		64.5		

# OJT・OFF-JTの機会

全体では、「新しい知識や技術を習得する機会は全くなかった」が最も多く70%。

職種別では、「運輸・通信関連職」は「新しい知識や技術を習得する機会は全くなかった」が8割を超えており、「営業・販売職」も7割を超えた。「ソフトウェア・インターネット関連技術者」では、「上司や先輩の指導を受けず、マニュアルを参考にして学んだ」が32%と、全体(17%)と比較して高い。

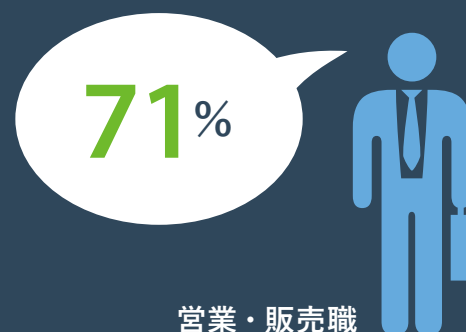
OFF-JTの機会について見ると、「生産工程・労務職」の「機会がなかった」が88%と全体(81%)よりやや高い。

上司や先輩の指導を受けず、  
マニュアルを参考にして学んだ



ソフトウェア・インターネット関連技術者

OJTの機会が全くなかった



営業・販売職

〈OJTの機会〉  
(複数回答)



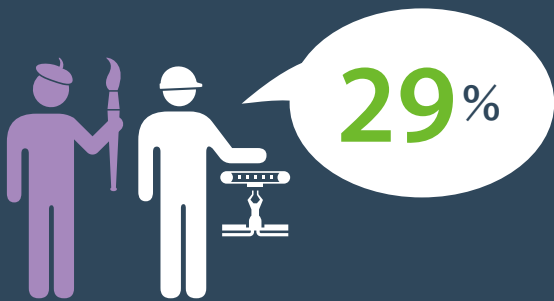
n=	教育プログラムをもとに 上司や先輩等から 指導を受けた	必要に応じて上司や 先輩等から 指導を受けた	上司や先輩の指導を受けず、 仕事を観察する事で 新知識を身に付けた	上司や先輩の指導を受けず、 マニュアルを 参考にして学んだ	新しい知識や 技術を習得する機会は 全くなかった	
TOTAL	1257	2.1	4.6	7.0	16.5	69.7
サービス職	84	4.6	5.0	7.3	16.2	66.9
運輸・通信関連職	51	1.0	3.4	5.2	8.2	82.0
生産工程・労務職	91	2.4	3.7	8.8	8.4	76.6
管理職	37	0.6	3.2	6.9	20.8	68.5
事務職	119	4.7	4.9	6.1	11.7	72.5
営業・販売職	82	1.5	7.7	4.7	15.1	71.0
専門職・技術職 TOTAL	492	1.1	5.5	7.6	22.0	63.7
建築・土木・測量技術者	77	2.8	4.0	11.3	12.5	69.5
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52	1.0	1.9	5.8	32.2	59.1
クリエイティブ職	58	0.6	4.2	7.3	27.5	60.4
その他の専門的・技術的職業	70	0.0	8.0	7.9	16.4	67.7
その他の職業	302	2.5	2.6	6.6	13.3	75.0

## 仕事レベルアップ(昨年1年間と比較)

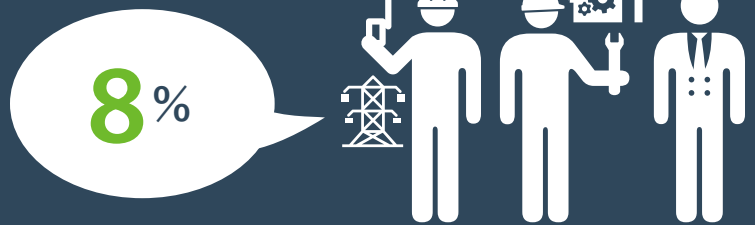
職種別では、「クリエイティブ職」「その他の専門的・技術的職業」で「レベルアップした」がいずれも29%、「サービス職」が24%と、全体(16%)より高くなっている。一方、「運輸・通信関連職」「生産工程・労務職」「管理職」は8%台と低い。

レベルアップ感が高い

レベルアップ感が低い



クリエイティブ職、その他の専門的・技術的職業



運輸・通信関連職、生産工程・労務職、管理職

### 〈仕事レベルアップ(昨年1年間と比較)〉

■レベルアップした ■同じぐらいのレベルだった ■レベルダウンした ■前年(2017年)は働いていなかった

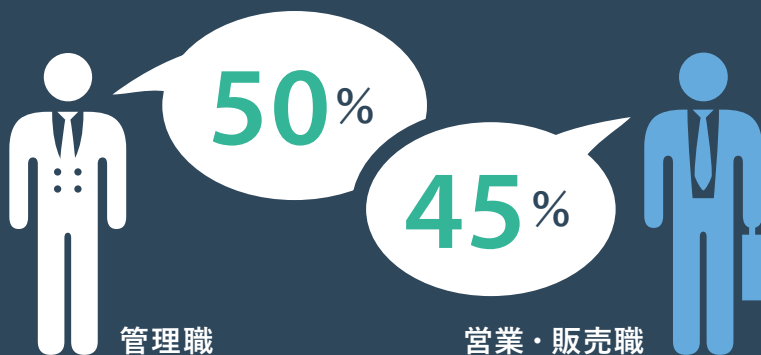
	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	1257	15.9	67.1	15.6			
サービス職	84	23.9	60.1	14.7			
運輸・通信関連職	51	8.3	76.0	15.1			
生産工程・労務職	91	8.0	66.5	21.7			
管理職	37	8.0	69.9	22.1			
事務職	119	11.0	64.6	20.6			
営業・販売職	82	9.3	68.1	22.6			
専門職・技術職 TOTAL	492	18.7	66.8	14.2			
建築・土木・測量技術者	77	10.4	73.1	16.5			
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52	11.4	45.2	13.4			
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58	28.9	47.4	23.7			
その他の専門的・技術的職業	70	28.5	62.9	7.4			
その他の職業	302	17.6	68.6	11.7			

## 幸福度・生活満足度

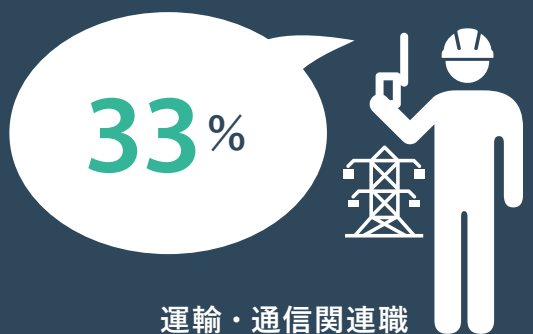
職種別では、「管理職」は「とても幸せ」「幸せ」の合計が50%、「営業・販売職」も45%と、全体(37%)より大幅に高い。一方、「運輸・通信関連職」は23%と全体より大幅に低い。

生活満足度についても同様の傾向で、「管理職」では「満足していた」「まあ満足していた」の合計が6割を超えており、「営業・販売職」も55%近くと全体(44%)よりも10ポイント以上高い。一方、「運輸・通信関連職」は33%と大幅に低い。

「とても幸せ」「幸せ」(全体37%)



「満足」(全体44%)



### 〈幸福度〉

■ 5点(とても幸せ) ■ 4点(幸せ) ■ 3点 ■ 2点 ■ 1点

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	1257	9.7	27.6	44.9	12.8		
サービス職	84	14.2	25.0	44.1	14.4		
運輸・通信関連職	51	20.6	54.0	16.9			
生産工程・労務職	91	29.9	45.0	14.6			
管理職	37	16.4	33.1	38.6	11.9		
事務職	119	10.5	25.7	44.8	14.4		
営業・販売職	82	13.7	31.6	38.4	10.9		
専門職・技術職 TOTAL	492	8.6	29.0	46.3	11.1		
建築・土木・測量技術者	77	12.9	20.3	54.1	7.4		
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52	35.4	47.7	10.3			
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58	7.9	29.1	44.8	13.4		
その他の専門的・技術的職業	70	17.1	32.8	33.1	14.9		
その他の職業	302	10.6	25.4	43.8	13.7		

### 〈生活満足度〉

■ 満足していた ■ どちらともいえない ■ 満足していない

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	43.6	33.4	23.0			
サービス職	42.1	34.0	23.8			
運輸・通信関連職	33.1	43.4	23.5			
生産工程・労務職	41.6	34.0	24.3			
管理職	61.3	21.8	17.0			
事務職	44.2	33.5	22.4			
営業・販売職	54.8	22.6	22.7			
専門職・技術職 TOTAL	43.5	33.9	22.6			
建築・土木・測量技術者	35.7	40.5	23.9			
ソフトウェア・インターネット関連技術者	43.9	42.3	13.7			
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	39.1	29.4	31.4			
その他の専門的・技術的職業	50.5	28.9	20.6			
その他の職業	41.2	34.9	24.0			

## 社会保障の加入率

全体では、「国民健康保険」の加入が最も高く85%、次いで「国民年金」が78%、「医療保険（民間）」が55%であった。職種別では、「サービス職」は、「労災保険」「フリーランスの保険」「フリーランス向け損害保険（フリーランス協会以外による提供）」で全体より10ポイント以上と大幅に高くなっている。「建築・土木・測量技術者」は、「医療保険（民間）」、「労災保険」が全体より20ポイント前後高い。「ソフトウェア・インターネット関連技術者」は、「医療保険（民間）」「労災保険」「国民年金基金」が、全体より約10～20ポイント加入率が低い。

「医療保険（民間）」の加入率（全体平均55%）

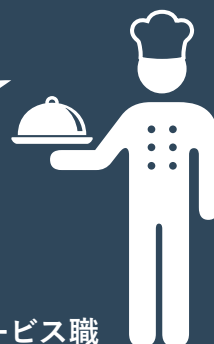


33%

ソフトウェア・インターネット関連技術者

「労災保険」の加入率（全体平均24%）

41%



サービス職

〈社会保障加入状況〉

	n=	国民健康保険	以前所属していた会社の健康保険（任意継続）	医療保険（民間）	労災保険	国民年金	国民年金基金	個人年金	フリーランス協会が提供している「フリーランスの保険」	フリーランス向け損害保険（フリーランス協会以外による提供）
TOTAL	588	84.5	15.5	54.8	24.0	78.4	31.8	31.1	9.7	9.0
サービス職	39	82.1	20.5	48.7	41.0	74.4	41.0	30.8	20.5	25.6
運輸・通信関連職	22	90.9	4.5	45.5	27.3	72.7	27.3	22.7	18.2	13.6
生産工程・労務職	35	91.4	11.4	54.3	40.0	77.1	34.3	25.7	8.6	2.9
管理職	20	65.0	30.0	80.0	25.0	90.0	40.0	40.0	10.0	10.0
事務職	56	89.3	8.9	64.3	26.8	80.4	25.0	32.1	12.5	8.9
営業・販売職	33	75.8	27.3	63.6	21.2	78.8	30.3	30.3	3.0	0
専門職・技術職 TOTAL	235	84.3	15.7	54.9	19.6	80.0	29.4	31.5	6.0	0
建築・土木・測量技術者	32	84.4	15.6	71.9	43.8	90.6	37.5	43.8	12.5	6.8
ソフトウェア・インターネット関連技術者	30	83.3	13.3	33.3	6.7	73.3	23.3	16.7	0	12.5
クリエイティブ職（美術家、写真家、デザイナー）	28	89.3	10.7	53.6	10.7	78.6	42.9	32.1	3.6	7.1
その他の専門的・技術的職業	36	80.6	16.7	47.2	11.1	86.1	27.8	41.7	5.6	8.3
その他の職業	148	85.8	14.2	48.6	22.3	76.4	35.1	31.8	11.5	10.1



# 健康保険・年金の加入状況

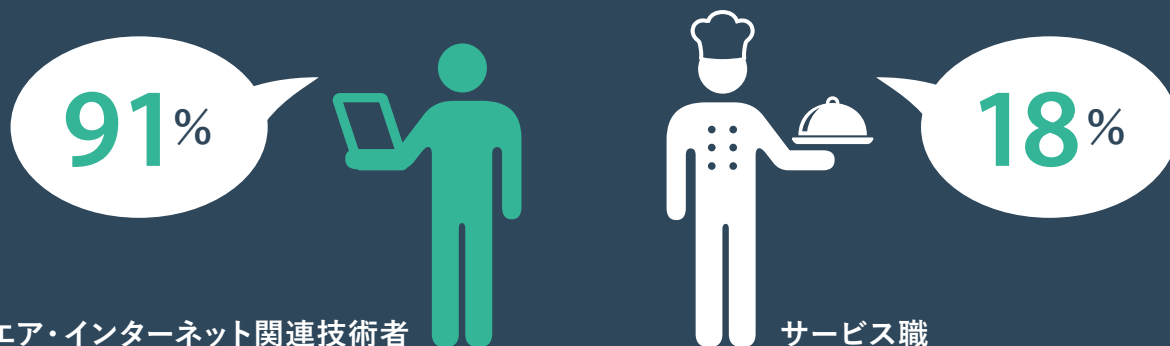
全体では、健康保険に「自分で加入+扶養家族」が84%、年金に「自分で加入+扶養家族」が76%と比較的高い。

職種別では、健康保険では、「ソフトウェア・インターネット関連技術者」で「自分で健康保険料を支払っていた」が91%と全体(76%)より高い。

年金制度では、「ソフトウェア・インターネット関連技術者」で「自分で年金保険料を支払っていた、もしくは年金を受給していた」が88%と、全体(70%)より高い。

「自分で健康保険料を支払っていた」(全体75%)

「年金保険に未加入」(全体12%)



## 〈健康保険制度〉

- 自分で健康保険料を支払っていた
- 自分で年金も払ってなかった
- 扶養家族として、家族の給与から健康保険料が天引きされていた
- わからない

## 〈年金制度〉

- 自分で年金保険料を支払っていた、もしくは年金を受給していた
- 自分で家族も払っておらず、受給もしていなかった
- 扶養家族として、家族の給与から年金保険料が天引きされていた
- わからない

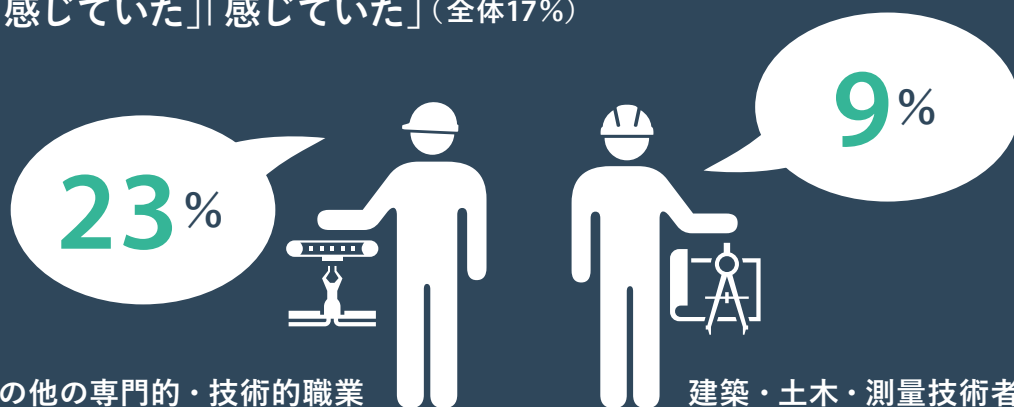
	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	1257	74.6	9.2	6.9	9.4			70.5	12.0	12.3			
サービス職	84	67.9	12.4	11.8	7.9			62.1	6.1	17.7	14.1		
運輸・通信関連職	51	78.7	7.1	6.9	7.3			72.2	16.6	10.7			
生産工程・労務職	91	82.4	7.0	5.4	5.3			71.3	6.7	12.2	9.8		
管理職	37	77.5	12.7	9.8				76.1	12.5	11.4			
事務職	119	65.4	11.4	12.0	11.2			70.9	6.1	12.3	10.7		
営業・販売職	82	82.9	6.0	7.3				75.3	13.2	8.4			
専門職・技術職 TOTAL	492	78.7	8.5	5.5	7.3			74.4	10.6	9.8			
建築・土木・測量技術者	77	84.1	7.4	7.4				76.5	7.1	14.7			
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52	91.2	5.3					87.5	7.4				
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58	80.7	10.7	5.7				72.1	13.1	9.7			
その他の専門的・技術的職業	70	62.5	23.6	10.3				67.3	14.2	11.3	7.3		
その他の職業	302	67.6	12.0	5.7	14.7			64.0	6.3	11.2	18.5		

## 仕事と家庭の両立に伴うストレス

職種別では、「その他の専門的・技術的職業」(女性比率56%)の「強く感じていた」「感じていた」の合計が23%と全体(17%)よりやや高い。

一方、「建築・土木・測量技術者」(女性比率5%)が9%、「管理職」(女性比率16%)が6%と、全体(17%)より低く、ストレスの度合いは低い。

「強く感じていた」「感じていた」(全体17%)



### 〈両立のストレス〉

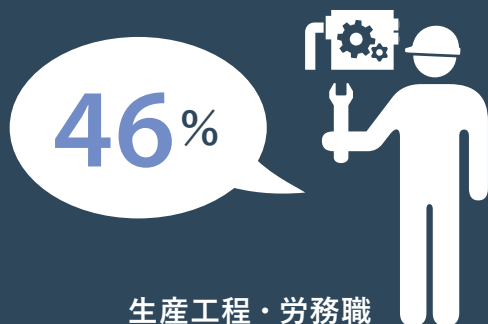
■強く感じていた ■感じていた ■少し感じていた ■感じていなかった ■全く感じていなかった

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%
TOTAL	1257	4.9	12.4	34.6	33.9	14.2	
サービス職	84	8.0	11.6	32.1	35.3	13.0	
運輸・通信関連職	51	4.0	12.9	41.2	24.6	17.3	
生産工程・労務職	91	5.7	7.7	39.0	39.6	8.0	
管理職	37	4.3	30.7	47.5	16.0		
事務職	119	3.5	8.5	33.0	42.3	12.6	
営業・販売職	82	12.3	26.3	41.9	18.0		
専門職・技術職 TOTAL	492	3.9	14.2	34.7	32.4	14.8	
建築・土木・測量技術者	77	6.5	40.0	38.3	12.7		
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52	4.1	15.9	16.6	52.1	11.4	
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58	4.1	17.4	32.0	29.6	16.8	
その他の専門的・技術的職業	70	4.3	18.8	32.6	22.1	22.2	
その他の職業	302	7.2	14.2	36.1	28.5	14.2	

## 入職経路

全体では、多い順に「その他」(36%)、「家族や知人の紹介」(28%)、「インターネットの転職情報サイト」(9%)、「前の職場からの紹介」(7%)である。職種別では「運輸・通信関連職」は、「会社に直接問い合わせた」が18%で、全体よりも高い。また、「運輸・通信関連職」「生産工程・労務職」「管理職」などで「家族や知人の紹介」が4割前後ある。「サービス職」は、「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」が11%と全体(6%)よりやや高い。「ソフトウェア・インターネット関連技術者」は、「前の職場からの紹介」が17%と全体(7%)よりも高い。

### 「家族や知人の紹介」



### 「前の職場からの紹介」



〈入職経路〉  
(複数回答)



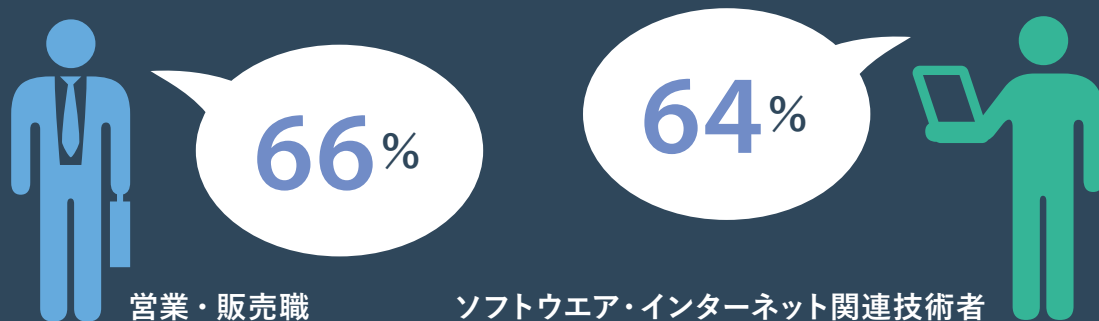
n=	会社に直接問い合わせた	学校(学生課)の窓口や掲示板	家族や知人の紹介	前の職場からの紹介	ハローワーク(職業安定所)	民間人材紹介会社	人材派遣会社	有料の求人情報誌	無料の求人情報誌やタウン誌	新聞の求人広告	折り込みチラシ	インターネットの転職情報サイト	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	その他	
TOTAL	1028	7.3	0.7	27.8	6.9	3.8	1.0	2.4	0.4	3.6	3.4	4.3	8.8	5.7	36.0
サービス職	69	7.4	0.0	27.9	8.3	2.5	0.9	3.9	2.7	6.4	3.4	3.7	10.4	10.7	23.8
運輸・通信関連職	44	18.4	0.5	38.8	1.7	7.6	0.0	0.0	0.0	6.4	3.4	9.7	19.0	0.0	6.4
生産工程・労務職	80	4.4	2.2	45.9	3.9	5.0	0.0	0.0	0.1	0.9	3.4	5.6	4.7	2.4	28.4
管理職	30	5.3	0.0	43.1	7.9	3.2	0.0	2.9	0.0	0.0	3.4	0.0	0.7	0.7	38.6
事務職	101	7.0	0.0	20.5	4.4	5.1	0.0	1.1	0.0	3.4	3.4	3.5	12.1	7.8	44.4
営業・販売職	70	12.2	0.0	28.8	8.6	1.8	1.5	0.7	0.0	2.7	3.4	1.8	4.8	5.7	35.4
専門職・技術職 TOTAL	405	7.3	0.9	26.8	9.2	3.5	1.1	2.6	0.5	3.2	3.4	3.4	9.3	5.9	38.3
建築・土木・測量技術者	61	10.5	0.0	26.4	5.2	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	5.1	6.6	0.0	44.9
ソフトウェア・インターネット関連技術者	46	11.7	1.8	26.4	17.3	2.2	1.1	4.1	0.0	2.0	3.4	2.6	7.0	4.3	34.4
クリエイティブ職	40	5.0	0.0	24.7	8.0	0.0	0.0	2.4	0.0	7.3	3.4	4.1	11.5	8.1	40.6
その他の専門的・技術的職業	49	4.5	1.9	41.7	5.3	6.2	0.0	1.1	0.0	10.6	3.4	2.0	13.3	3.5	22.9
その他の職業	230	5.2	0.6	22.0	5.2	3.5	1.7	3.9	0.0	4.5	2.3	6.3	7.8	5.9	40.2

## 初職の就業形態

全体では、「正規の職員・従業員」が55%と高く、次いで「自営業主・家族従事者・内職」が30%であった。

職種別に初職の就業形態を見ると、「サービス職」「クリエイティブ職」は、「パート・アルバイト」がどちらも11%と全体(9%)より高い。一方、「営業・販売職」「ソフトウェア・インターネット関連技術者」は、「正規の職員・従業員」がそれぞれ66%、64%と、いずれも6割を超えている。「クリエイティブ職」は「自営業主・家族従業者・内職」が40%と全体(30%)より高い。

### 初職が「正規の職員・従業員」の比率(全体55%)



#### 〈初職就業形態〉

■ 正規の職員・従業員 ■ パート・アルバイト ■ 労働者派遣事業所の派遣社員 ■ 契約社員・嘱託  
 ■ その他 ■ 会社などの役員 ■ 自営業主・家族従業者・内職

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
TOTAL	1254		55.2		9.2		29.5	
サービス職	84		62.6		10.5		22.7	
運輸・通信関連職	51		61.1		8.9	4.1	24.6	
生産工程・労務職	91		63.2		9.7		22.8	
管理職	37		48.4	7.2	3.2		41.2	
事務職	119		50.7		7.4		34.8	
営業・販売職	82		65.8		5.0		26.4	
専門職・技術職 TOTAL	491		56.9		7.5	3.6	28.7	
建築・土木・測量技術者	77		61.4		5.0	3.6	25.9	
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52		63.7		7.9	5.3	3.1	19.5
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	58		43.0		11.2	4.3	39.6	
その他の専門的・技術的職業	70		46.1		3.4		44.8	
その他の職業	302		46.6		14.3	3.3	33.1	

## 前職の年収

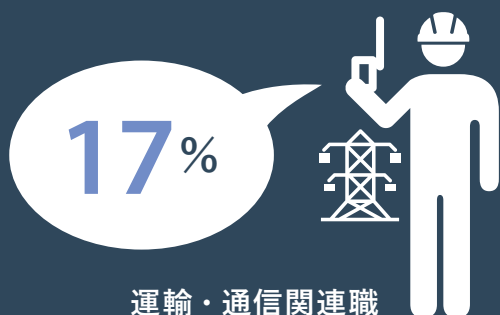
前職の年収は、全体平均は377.7万円。「300～500万円未満」が31%、「100～300万円未満」が27%だった。

職種別では、平均は高い順に「営業・販売職」が471.4万円、「管理職」が455.6万円、「ソフトウェア・インターネット関連技術者」が449.3万円、最も低いのは「生産工程・労務職」で275.8万円だった。

「運輸・通信関連職」「生産工程・労務職」は、「0～100万円未満」がそれぞれ17%、16%と全体(14%)よりやや高い。

「ソフトウェア・インターネット関連技術者」では、「500～700万円未満」が27%と全体(14%)より高い。

「100万円未満」



「500～700万円未満」



### 〈前職の年収〉

■ 0～100万円未満 ■ 100～300万円未満 ■ 300～500万円未満 ■ 500～700万円未満  
 ■ 700～1000万円未満 ■ 1000～2000万円未満 ■ 2000万円以上

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	平均値
TOTAL	927	13.9	26.7	31.4	13.9	8.7	3.2	377.7
サービス職	64	14.9	36.4	27.9	12.2	8.7		323.4
運輸・通信関連職	39	16.9	29.0	33.1	13.7	6.5	4.2	330.3
生産工程・労務職	74	16.4	36.1	35.2	12.3	3.5		275.8
管理職	27	3.7	27.0	42.2	5.7	7.9	12.8	455.6
事務職	93	13.3	28.3	29.9	13.0	10.1	4.3	378.3
営業・販売職	66	11.8	18.2	25.6	20.0	10.0	7.3	471.4
専門職・技術職 TOTAL	365	10.2	24.0	35.0	14.6	9.6		407.8
建築・土木・測量技術者	54	5.9	27.5	50.5	11.6	5.7		337.3
ソフトウェア・インターネット関連技術者	44	13.3	5.9	33.6	26.6	10.2		449.3
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	35	12.9	35.3	33.9	9.1	3.5	5.4	312.6
その他の専門的・技術的職業	43	13.4	39.3	27.4	12.6	4.7	3.4	313.3
その他の職業	201	21.2	26.7	25.4	13.2	10.2		345.4

## 現在の年収

全体では、平均が298.7万円。「100～300万円未満」が36%、「300～500万円未満」が27%だった。

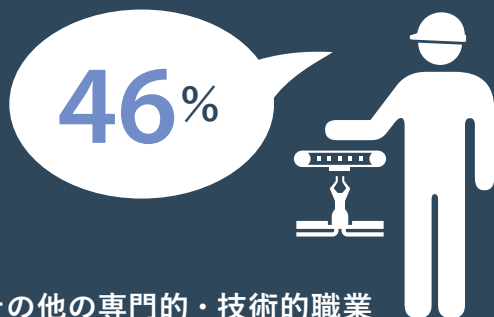
職種別では、平均は高い順に「ソフトウェア・インターネット関連技術者」が370.7万円、「建築・土木・測量技術者」368.9万円、「クリエイティブ職」が340.9万円。最も低いのは「サービス職」で230.3万円だった。

「その他の専門的・技術的職業」は「100～300万円未満」が46%と全体(36%)より高い。

「ソフトウェア・インターネット関連技術者」は、「500～700万円未満」が25%と全体(10%)より15ポイント程度高い。

「100～300万円未満」

「500～700万円未満」



### 〈現在の年収〉

■ 0～100万円未満 ■ 100～300万円未満 ■ 300～500万円未満 ■ 500～700万円未満  
 ■ 700～1000万円未満 ■ 1000～2000万円未満 ■ 2000万円以上

	n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	平均値
TOTAL	1173	19.4	36.2	27.1	10.3	5.2		298.7
サービス職	79	21.9	47.9	19.2	8.1			230.3
運輸・通信関連職	48	12.4	40.7	37.8	4.2			289.5
生産工程・労務職	87	23.1	25.9	34.2	14.0			294.7
管理職	35	13.8	34.4	37.2	12.6	10.3		326.1
事務職	106	24.3	35.5	26.1	6.6	4.3		274.7
営業・販売職	75	14.7	34.3	28.4	13.0	11.0		318.2
専門職・技術職 TOTA	468	14.2	36.5	28.7	12.4	5.8		325.0
建築・土木・測量技術者	74	5.4	29.6	40.6	15.9	6.0		368.9
ソフトウェア・インターネット関連技術者	51	6.8	40.0	17.7	24.8	8.7		370.7
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	55	16.2	37.1	29.7	9.8	3.3	3.5	340.9
その他の専門的・技術的職業	66	26.2	46.4	15.4	4.1	5.9		240.4
その他の職業	274	27.8	35.5	22.6	7.8	4.2		276.8

## 前職→現職 年収増減率

全体では、「-40%」が37%と最も多く、次いで「100%以上」が16%だった。

職種別では、「運輸・通信関連職」「生産工程・労務職」で「±0」増減なしが2割前後と全体(9%)より高い。

「管理職」「営業・販売職」は、「-40%以上」が5割前後で、大幅な収入減となっている。

年収が増えた人の割合が多いのは、「建築・土木・測量技術者」(50%)。年収が減った人の割合が多いのは、その他の専門的・技術的職業(70%)、管理職(70%)、事務職(62%)、営業・販売職(63%)。

年収が増えた人が多い

年収が減った人が多い



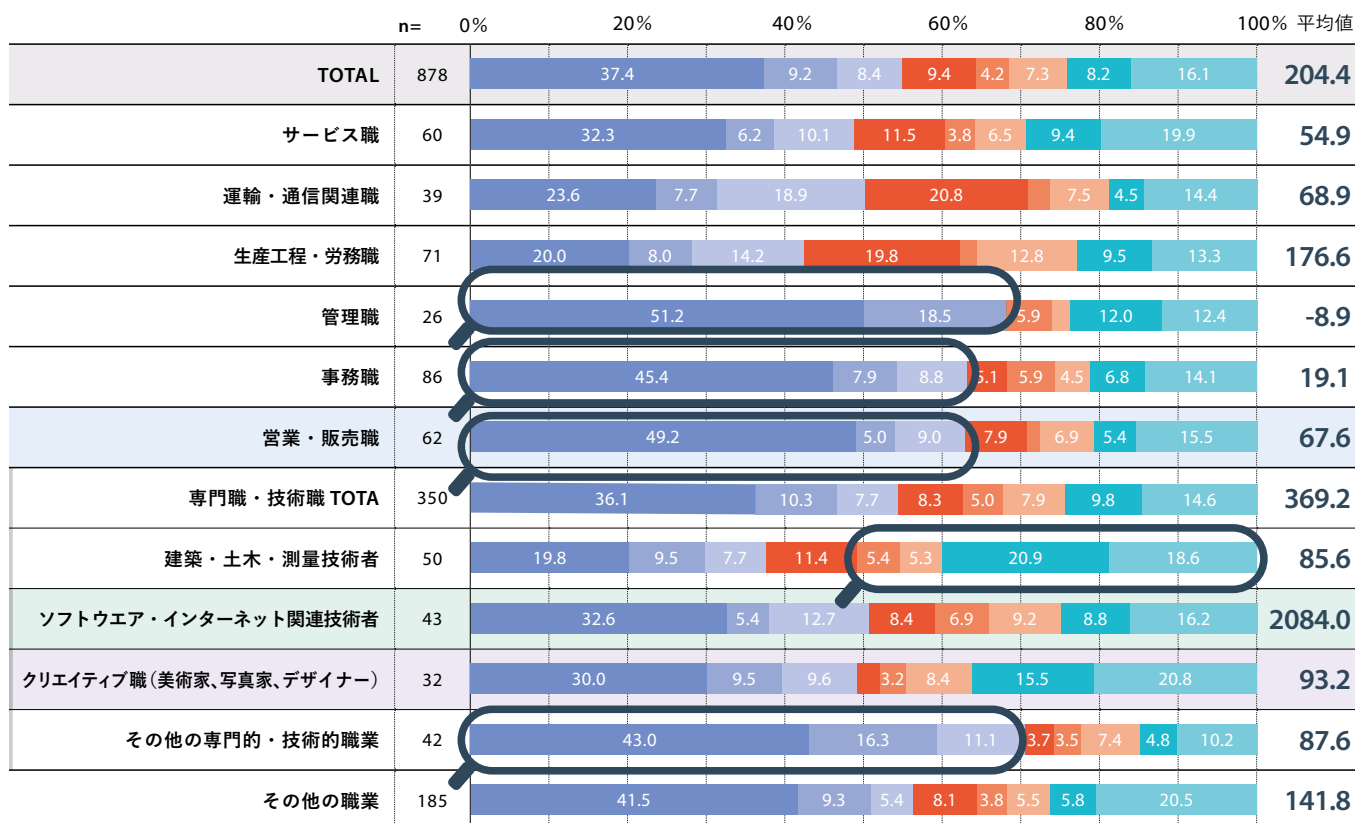
建築・土木・測量技術者



その他の専門的・技術的職業、管理職、事務職、営業・販売職

〈年収増減率〉

■ -40%以上 ■ -20%~-40%未満 ■ ~-20%未満 ■ ±0 ■ ~20%未満 ■ 20~40%未満  
■ 40~100%未満 ■ 100%以上



## 退職回数

全体では、多い順に「1回」が21%、「2回」が20%、「0回(退職したことがない)」が18%だった。

職種別では、「0回(退職したことはない)」が多いのは、「クリエイティブ職」で32%。

「その他の専門的・技術的職業」は「1回」が27%で、全体の21%よりやや高い。

退職回数が「6~10回」と多いのは、「管理職」(14%)、「営業・販売職」(15%)。

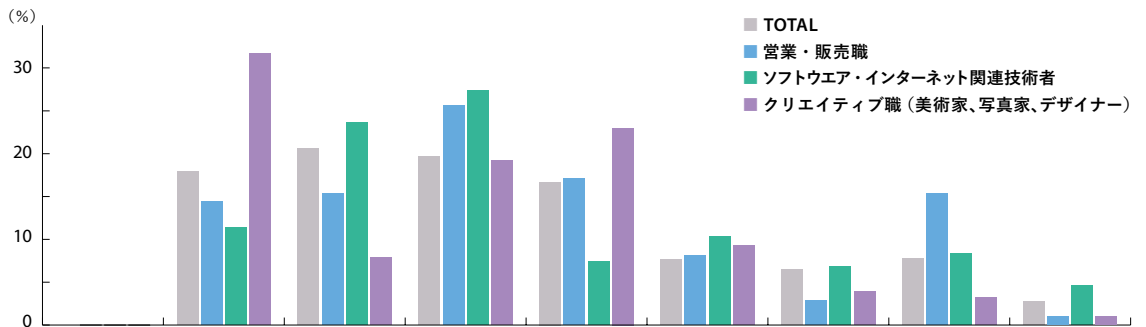
「運輸・通信関連職」では「3回」が26%と全体より10ポイントほど高くなっている。

過去に退職したことがない

退職回数が「6回~10回」と多い



〈退職回数〉



	n=	まだ社会人にならなかったことはない (在学中)	0回 (退職したことはない)	1回	2回	3回	4回	5回	6~10回	11回以上
TOTAL	1257	0.3	17.9	20.6	19.7	16.7	7.7	6.5	7.8	2.7
サービス職	84	0.3	17.4	22.6	24.0	14.1	6.4	4.4	8.0	2.9
運輸・通信関連職	51	1.0	12.6	11.5	15.5	26.2	10.8	10.0	10.6	1.6
生産工程・労務職	91	0.3	11.3	22.1	16.3	19.2	13.8	8.1	7.8	1.2
管理職	37	0.0	19.4	19.9	19.1	17.0	4.6	6.4	13.7	0.0
事務職	119	0.0	15.3	22.3	15.6	13.6	12.9	7.8	9.9	2.6
営業・販売職	82	0.0	14.4	15.4	25.6	17.1	8.1	2.9	15.4	1.1
専門職・技術職 TOTAL	492	0.1	17.7	23.5	18.5	19.8	5.5	6.5	6.0	2.4
建築・土木・測量技術者	77	0.0	20.5	24.8	17.2	20.7	0.0	8.6	6.3	1.9
ソフトウェア・インターネット関連技術者	52	0.0	11.4	23.6	27.4	7.4	10.3	6.8	8.4	4.6
クリエイティブ職	58	0.0	31.7	7.9	19.2	23.0	9.3	3.9	3.2	1.7
その他の専門的・技術的職業	70	0.0	29.2	27.3	18.2	13.9	0.0	4.9	5.0	1.6
その他の職業	302	0.6	23.3	17.3	22.3	11.2	7.5	6.6	6.6	4.6

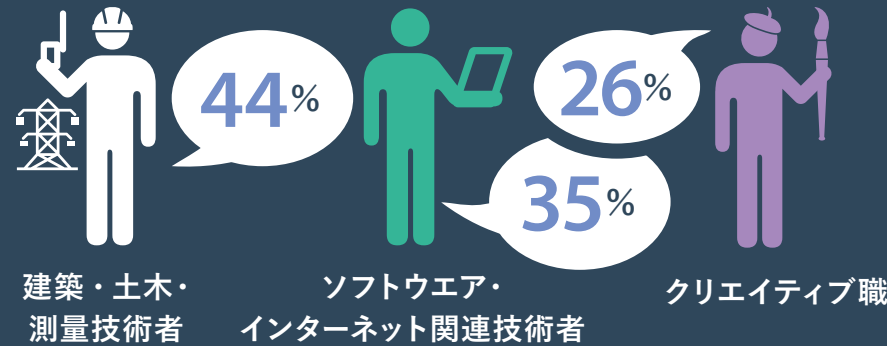


# 前職の退職理由

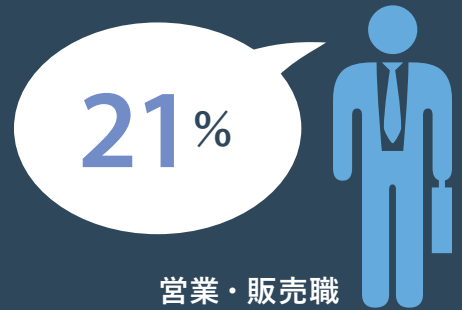
全体では、多い順に「独立のため」が21%、「人間関係への不満」が14%、「仕事内容への不満」が11%だった。

職種別では、「建築・土木・測量技術者」「ソフトウェア・インターネット関連技術者」「クリエイティブ職」などの専門職で「独立のため」のスコアが25%～40%超と全体（21%）より高い。また、「ソフトウェア・インターネット関連技術者」は「契約期間の満了」が23%と全体（9%）より大幅に高い。「営業・販売職」では、「会社の倒産・事業所の閉鎖」が2割を超えており、全体（9%）より大幅に高い。

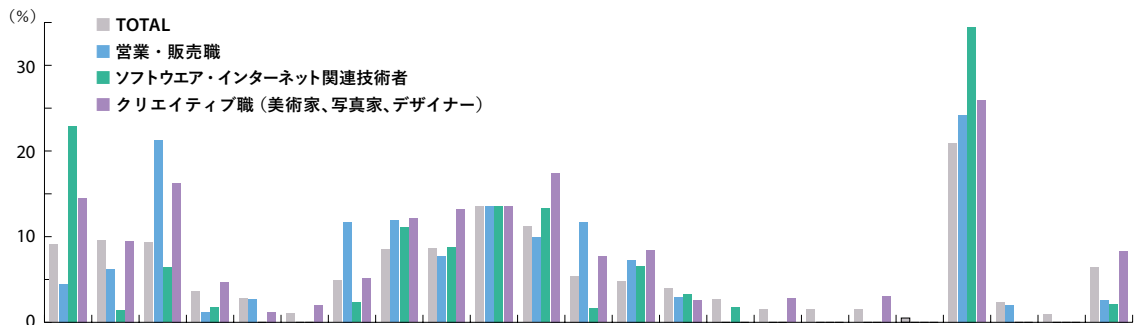
## 「独立のため」(全体21%)



## 「会社の倒産・事業所の閉鎖」(全体9%)



### 〈前職の退職理由〉

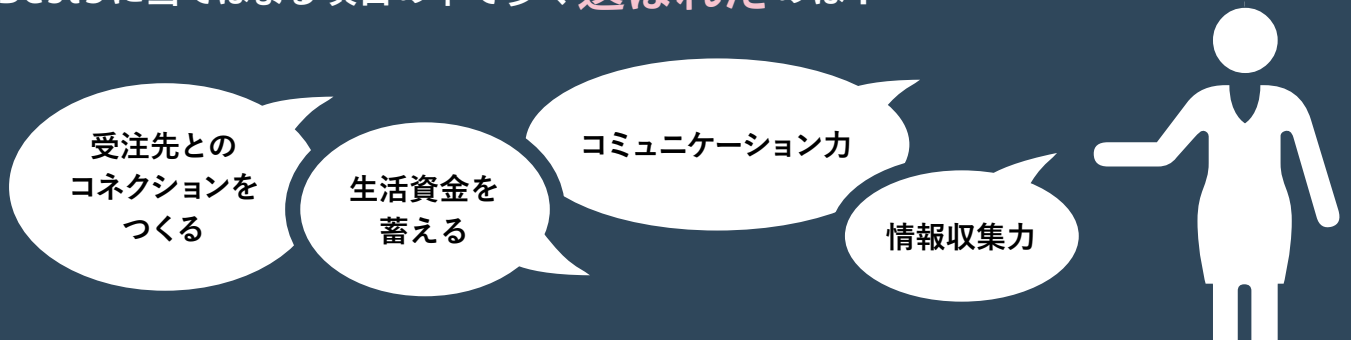


n=	契約期間	定年	事業所の閉鎖・	退職勧奨	解雇	転籍	早期退職	賃金への不満	労働条件や勤務地への不満	人間関係への不満	仕事内容への不満	会社の将来性や雇用安定性への不安	自分の身体的な病気がや病気が	自分の精神的な病気が	結婚	妊娠・出産	育児・子育て	介護のため	配偶者の転勤のため	独立のため	家族を継ぐため、家を継ぐため	進学や資格取得のため	その他	
TOTAL	1028	9.1	9.6	9.3	3.6	2.8	1.1	4.9	8.5	8.7	13.6	11.2	5.4	4.8	4.0	2.7	1.5	1.5	1.5	0.5	20.9	2.3	0.9	6.4
サービス職	69	11.1	15.4	6.0	5.5	1.4	0.0	6.7	11.2	8.4	13.6	15.1	10.0	5.4	2.7	1.5	1.2	0.0	1.3	0.0	14.2	1.4	0.0	3.6
運輸・通信関連職	44	5.4	13.6	5.8	2.7	2.2	0.5	0.0	15.5	19.0	13.6	14.1	0.0	11.4	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	0.0	0.0	9.2
生産工程・労務職	80	2.4	10.1	12.8	1.4	2.6	1.5	2.1	14.5	8.6	13.6	9.5	6.1	3.2	0.8	1.1	0.0	1.0	1.0	0.0	22.7	8.2	1.1	3.5
管理職	30	10.3	18.7	14.3	0.0	3.7	3.9	7.9	5.7	7.8	13.6	9.5	8.7	0.0	2.9	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	7.4	10.6	0.0	6.1
事務職	101	16.1	8.1	16.0	3.5	5.1	1.6	4.6	2.1	3.9	13.6	6.5	1.2	4.7	6.8	2.8	1.5	2.4	1.2	0.0	13.7	4.0	0.0	7.8
営業・販売職	70	4.5	6.2	21.3	1.2	2.7	0.0	11.7	11.9	7.7	13.6	9.9	11.7	7.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.2	2.0	0.0	2.6
専門職・技術職 TOTAL	405	9.2	9.0	7.6	3.6	3.0	1.3	4.5	7.7	8.5	13.6	11.5	5.3	5.8	3.7	3.3	1.2	2.3	2.3	0.5	26.6	0.9	0.7	6.6
建築・土木・測量技術者	61	3.0	1.9	8.5	1.0	1.6	0.0	2.1	7.1	7.4	13.6	15.3	6.3	0.0	6.9	1.7	0.0	3.3	0.0	1.0	43.6	2.6	0.0	8.6
ソフトウェア・インターネット関連技術者	46	22.9	1.4	6.4	1.8	0.0	0.0	2.3	11.1	8.8	13.6	13.3	1.7	6.6	3.3	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	34.5	0.0	0.0	2.1
クリエイティブ職	40	14.5	9.5	16.3	4.7	1.2	2.0	5.2	12.1	13.2	13.6	17.4	7.7	8.4	2.6	0.0	2.8	0.0	3.1	0.0	25.9	0.0	0.0	8.3
その他の専門的・技術的職業	49	5.6	5.5	3.4	3.2	3.7	1.3	3.0	1.8	11.2	13.6	4.7	5.3	5.3	1.5	13.1	1.9	1.5	6.6	2.9	14.6	2.0	0.0	7.5
その他の職業	230	9.4	8.7	5.4	5.6	2.1	0.8	4.7	7.6	9.6	16.3	12.3	4.3	2.3	6.0	3.9	3.7	1.3	0.8	1.3	17.8	1.5	2.2	8.0

## フリーランスになるにあたっての重要事項

フリーランスになるにあたっての重要事項について、25の質問項目からBest5を回答してもらった。その中で多く選ばれたのは「生活資金を蓄えること」「受注先とのコネクションをつくること」「コミュニケーション力」「情報収集力」であった。職種別の特徴では、「営業・販売職」は「受注先とのコネクションをつくること」「営業力(売上目標を継続的に達成し続けることができる力)」「商品知識(商品やサービスを正しく、深く理解する力)」「市場理解(消費者のニーズや業界の知識、今後の市場予想をする力)」がそれぞれ全体より10～20ポイント以上と大幅に高い。「建築・土木・測量技術者」は「受注先とのコネクションをつくること」が60%と全体より大幅に高い。「ソフトウェア・インターネット関連技術者」は、「分析力(手元の情報を元にデータを理解・判断する力)」が5割と、全体より20ポイント前後高い。「クリエイティブ職」は、「受注先とのコネクションをつくること」が66%と他の職種より高い。そのほか「コミュニケーション力(誰とでもいい関係構築ができる力)」および「営業力(売上目標を継続的に達成し続けることができる力)」も5割近く、「プレゼンテーション力(自分の思っていることを相手に理解してもらう力)」も4割と、全職種の中で最も高い。

### Best5に当てはまる項目の中で多く選ばれたのは？



n=

TOTAL	588	生活資金を蓄えること	受注先とのコネクションをつくること	コミュニケーション力
サービス職	39	生活資金を蓄えること	受注先とのコネクションをつくること	問題解決力
運輸・通信関連職	22	生活資金を蓄えること	受注先とのコネクションをつくること	資格を得ること
生産工程・労務職	35	生活資金を蓄えること	受注先とのコネクションをつくること	商品知識
管理職	20	営業力	コミュニケーション力	生活資金を蓄えること
事務職	56	生活資金を蓄えること	受注先とのコネクションをつくること	情報収集力
営業・販売職	33	生活資金を蓄えること	受注先とのコネクションをつくること	営業力
専門職・技術職 TOTAL	235	受注先とのコネクションをつくること	生活資金を蓄えること	コミュニケーション力
建築・土木・測量技術者	32	受注先とのコネクションをつくること	生活資金を蓄えること	営業力
ソフトウェア・インターネット関連技術者	30	分析力	受注先とのコネクションをつくること	生活資金を蓄えること
クリエイティブ職(美術家、写真家、デザイナー)	28	受注先とのコネクションをつくること	コミュニケーション力	営業力
その他の専門的・技術的職業	36	コミュニケーション力	生活資金を蓄えること	情報収集力
その他の職業	148	生活資金を蓄えること	情報収集力	受注先とのコネクションをつくること



## Works Report 2020

データで見る日本のフリーランス  
本業＝フリーランス324万人のリアル

発行  
リクルートワークス研究所

〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17  
リクルートGINZA8ビル  
株式会社リクルート  
TEL 03-6835-9200  
<https://www.works-i.com/>

村田弘美（グローバルセンター長）

〈実査協力〉

佐藤春奈（株式会社インテージ）  
加藤秀和（株式会社インテージ）  
進藤杏奈（株式会社インテージ）

〈デザイン〉

株式会社トライ・エックス

発行日 2020年3月30日  
本誌掲載記事の無断転載を禁じます  
©Recruit Co.,Ltd All right reserved.

# Works Report 2020

データで見る日本のフリーランス

リクルートワークス研究所

〒104-8001

東京都中央区銀座8-4-17

リクルート GINZA8ビル

株式会社リクルート

TEL 03-6835-9200

<https://www.works-i.com>